

ESET Endpoint Protection シリーズ

サーバーのリプレイスに伴う

ESET Remote Administrator V6 の移行手順

(サーバーの IP アドレスやコンピュータ名を変更する場合)

第 2 版

2019 年 9 月

キャノンマーケティングジャパン株式会社

目次

1. はじめに.....	3
2. 本資料における構成の前提	4
3. 新サーバーへの ERA 移行フロー.....	6
4. 作業をはじめる前に.....	7
5. [STEP1] 旧サーバーでデータベースのバックアップ取得	8
6. [STEP2] 新サーバーで EFSW のインストール	13
7. [STEP3] リストアと ERA インストール	21
8. [STEP4] ERA サーバーのセットアップ.....	34
9. [STEP5] クライアントの接続先の変更.....	46

1. はじめに

- 本資料は、ESET Endpoint Protection シリーズ V6 をご利用のお客さまがサーバーのリプレイス時に ESET Remote Administrator V6.5 の移行を行う場合、必要となる作業や注意事項について記載しています。
- 本資料は、本資料作成時のソフトウェア及びハードウェアの情報に基づき作成されています。ソフトウェアのバージョンアップなどにより、記載内容とソフトウェアに搭載されている機能及び名称が異なっている場合があります。また本資料の内容は、将来予告なく変更することがあります。
- 本資料の画面イメージは、Windows Server 2016 をベースに作成しております。そのため、OS によっては記載内容と名称が異なっている場合がございます。
- 本製品の全部またはすべてを無断で複写、複製、改変することはその形態問わず、禁じます。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標または、登録商標です。ESET、ESET Endpoint Security はスロバキア共和国 ESET,LLC ならびに ESET, spol. s. r. o. に帰属します。本資料の著作権は、キヤノンマーケティングジャパン株式会社に帰属します。その他の製品名及び社名などは、各社の商標または登録商標です。

2. 本資料における構成の前提

本資料は、以下の構成を前提として、サーバーのリプレイス時に ESET Remote Administrator V6 を移行する為のフローや注意点を記載しております。

移行前

	旧サーバー	新サーバー
全体構成	<ul style="list-style-type: none"> ・一台のサーバーで管理とミラー機能を運用 ・専用サーバーで運用 ・モバイル管理なし ・オンライン環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン環境
OS	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2012 R2 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2016 又は Windows Server 2012 R2
ESET 製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ ESET Remote Administrator V6.5.549.0 (管理用) ※ 1 ・ ESET File Security for Microsoft Windows Server V6.5.12014.1 (ウイルス・スパイウェア対策兼ミラー機能用) ※ 2 	
利用データベース	<ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft SQL Server 2014 Express ※ 3 	



移行後

	旧サーバー	新サーバー
全体構成		<ul style="list-style-type: none"> ・一台のサーバーで管理とミラー機能を運用 ・専用サーバーで運用 ・モバイル管理なし ・オンライン環境
OS		<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2016 又は Windows Server 2012 R2
ESET 製品		<ul style="list-style-type: none"> ・ ESET Remote Administrator V6.5.549.0 (管理用) ※ 4 ・ ESET File Security for Microsoft Windows Server V6.5.12014.1 (ウイルス・スパイウェア対策兼ミラー機能用)
利用データベース		<ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft SQL Server 2014 Express

※ 1 以降、略称で「ERA」と表記する。

※ 2 以降、略称で「EFSW」と表記する。

※ 3 以降、略称で「MSSQL」と表記する。

※ 4 移行前と移行後の ESET Remote Administrator は完全に同一のバージョンである必要があります。

<参考>

現在、ERA V6.2 または ERA V6.3 を使われている方は、ERA を V6.5 にバージョンアップしてから、サーバー移行作業を行うようお願いいたします。

ERA V6.5 へのバージョンアップ方法は以下のサイトを参照してください。

URL: https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/4737?site_domain=business

<注意>

モバイル端末の管理データは移行することができません。

そのため、新サーバーでモバイル端末を管理する際は、インストール時にモバイルデバイスコネクタもインストールを行い、リストア作業終了後に、再度、モバイル端末を登録してください。

モバイル端末を登録する方法は、ユーザーズサイトに公開しております「ESET Remote Administrator ユーザーズマニュアル」の「5.3.6 モバイルデバイスの手動追加」をご参照ください。

3. 新サーバーへの ERA 移行フロー

サーバーリプレイスに伴う、ERA と EFSW の移行に必要なステップは以下の通りです。



4. 作業をはじめる前に

事前準備

移行作業を始める前に、旧サーバーと新サーバーに以下のプログラムをダウンロードまたはインストールを行ってください。

【旧サーバー】

インストールするプログラム

- ・ SQL Server Management Studio17.7

以下の URL からインストールを行ってください。

URL : <https://docs.microsoft.com/ja-jp/sql/ssms>

※インストールには時間がかかります。

【新サーバー】

インストールするプログラム

- ・ SQL Server Management Studio17.7

以下の URL からインストールを行ってください。

URL : <https://docs.microsoft.com/ja-jp/sql/ssms>

※インストールには時間がかかります。

インストーラーの取得のみを行うプログラム(※インストールは行わないでください)

以下の URL よりユーザーズサイトにログインし、インストーラーのダウンロードを行ってください。

URL : <https://canon-its.jp/product/eset/users/index.html>

※ユーザーズサイトにログインするにはシリアル番号とユーザー名が必要です。

- ・ ERA のオールインワンインストーラー

※ユーザーズサイトで「プログラム/マニュアル」→「プログラムの一覧からダウンロード」→「クライアント管理用プログラムについてはこちら」→「Windows Server でご利用の場合」と進むとインストーラーがございます。

- ・ EFWS のインストーラー

※ユーザーズサイトで「プログラム/マニュアル」→「プログラムの一覧からダウンロード」→「Windows Server でご利用の場合」と進むとインストーラーがございます。

※ライセンス情報について

STEP3-1 で EFSW のインストールの際に、製品認証キーを入力する必要があります。ユーザーズサイトの「ライセンス情報/申込書作成」のアクティベーション情報にある「製品認証キー」を控えておきますようお願いいたします。

5. 【STEP1】 旧サーバーでデータベースのバックアップ取得

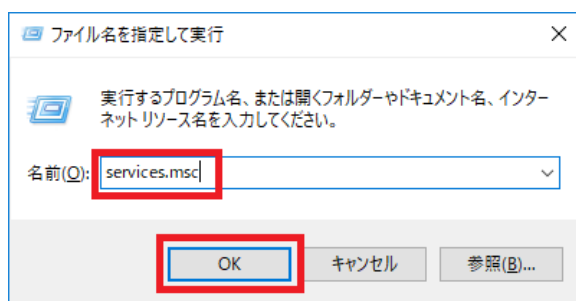
STEP1-1. ERA のサービス停止

旧サーバーのデータベースのバックアップを取得するために、以下の手順を参照して ERA のサービスを停止させます。

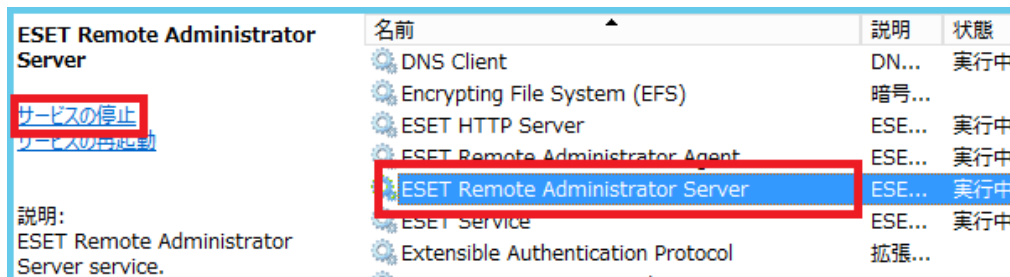
<注意>

旧サーバーでバックアップを取得してから、各クライアントが新サーバーに接続し始めるまでの間、各クライアントが収集したログは旧サーバーの方に送られます。そのため、その間のログは新サーバーに移行できませんので、ご注意ください。

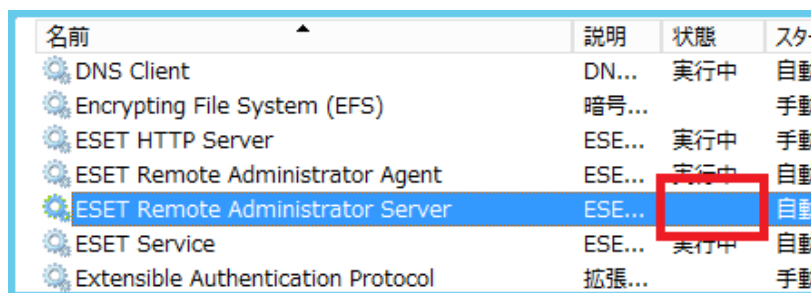
1. 「Windows キー」 + 「R」 でファイル名を指定して実行させるウィンドウを開き「services.msc」と入力し、「OK」をクリックします。



2. 「ESET Remote Administrator Server」サービスを選択し、サービスの停止をクリックします。



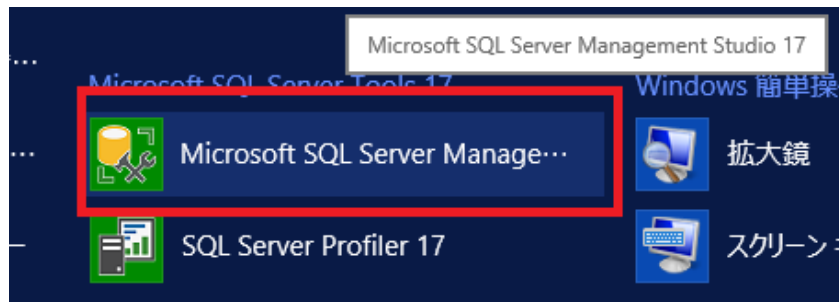
3. 「ESET Remote Administrator Server」の項目の状態が空欄になったことを確認します。



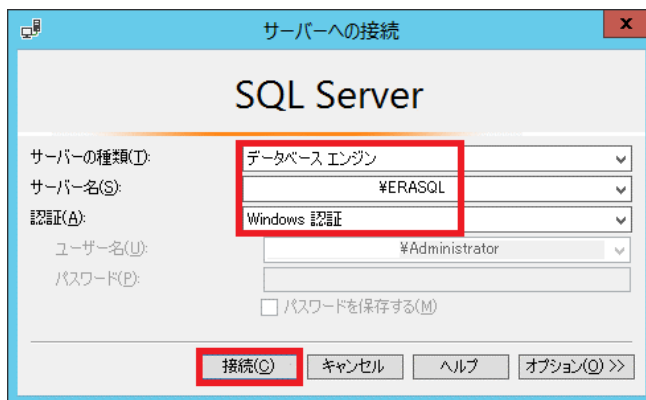
STEP1-2. データベースのバックアップ

旧サーバーで取得したデータを新サーバーに移行するために、以下の手順を参照して旧サーバーのデータベースのバックアップファイルを作成してください。

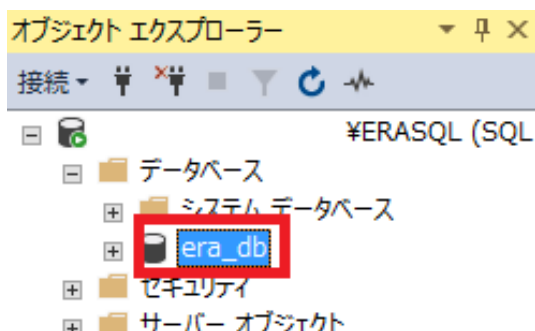
1. 「スタートボタン」 → 「Microsoft SQL Server Management Studio17」 をクリックし、SQL Server Management Studio17 を起動します。
※初めて起動する場合、起動に少々お時間がかかります。



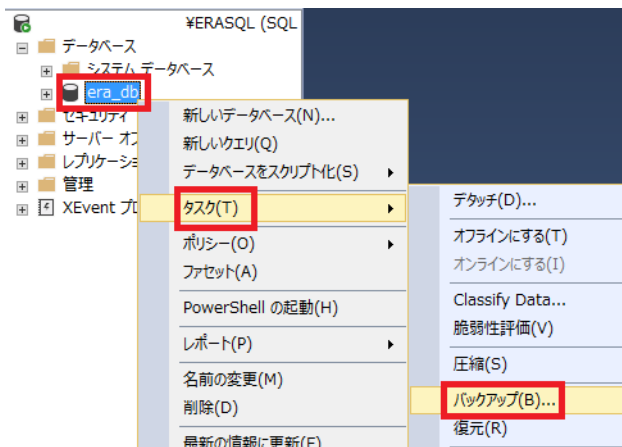
2. サーバーへの接続画面で、項目が以下のようになっていることを確認して「接続」をクリックします。
サーバーの種類：データベースエンジン
サーバー名：ERA サーバーで使用するインスタンス名※
認証：Windows 認証
※既定では「コンピュータ名¥ERASQL」となっております。



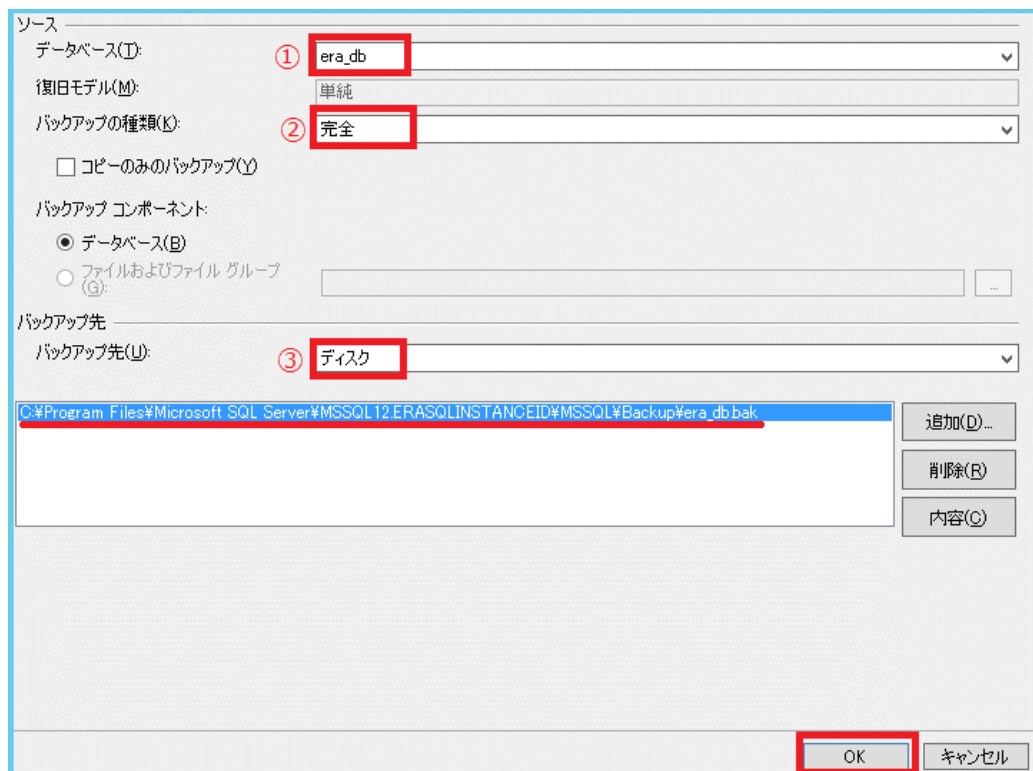
3. オブジェクトエクスプローラーから「インスタンス名」-「データベース」-「era_db」に移動します。



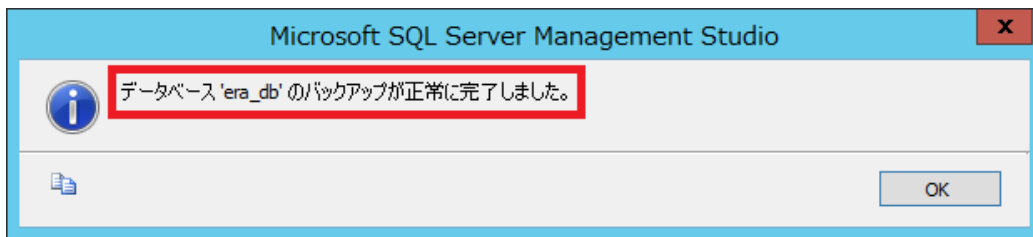
4. 「era_db」を右クリックし、「タスク」 - 「バックアップ」をクリックします。



5. 表示された画面で項目を以下のように設定し、「OK」をクリックします。
- ①データベース：era_db
 - ②バックアップの種類：完全
 - ③バックアップ先：ディスク
- ※既定では以下のフォルダーに、バックアップファイル(era_db.bak)が作成されます。
C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥「インスタンス名」¥MSSQL¥Backup



- 以下のメッセージが表示されたらバックアップは正常に終了しています。
「データベース'era_db'のバックアップが正常に完了しました。」



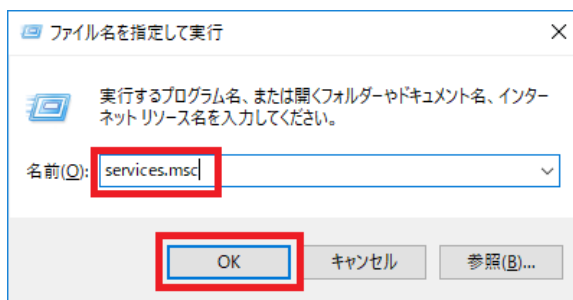
※ 「アクセスが拒否されました」といったエラーが出力された場合は、バックアップファイルの出力先にアクセスする権限があるかご確認ください

- 作成したバックアップファイルを新サーバー上に移行します。

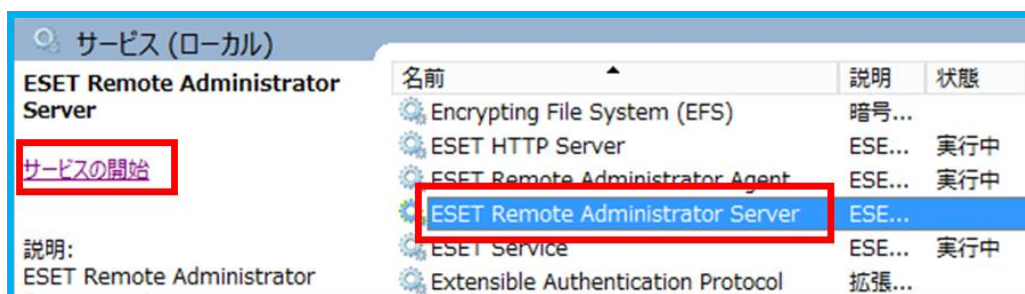
STEP1-3. ERA のサービス起動

新サーバーで管理を開始するまで、旧サーバーでの管理を行うため ERA のサービスを起動します。以下の手順で ERA のサービスの起動を行ってください。

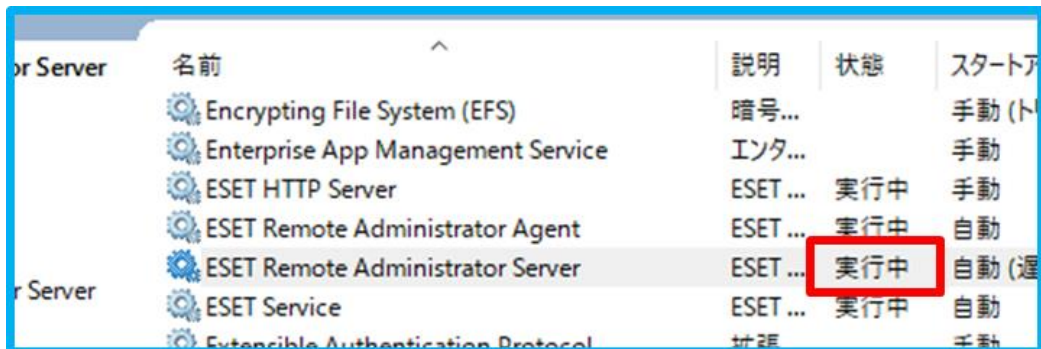
- 「Windows キー」 + 「R」でファイル名を指定して実行させるウィンドウを開き「services.msc」と入力し、「OK」をクリックします。



- 「ESET Remote Administrator Server」サービスを選択し、サービスの開始をクリックします。



3. 「ESET Remote Administrator Server」の項目の状態が実行中になったことを確認します。



The screenshot shows a list of services in the Windows Services console. The 'ESET Remote Administrator Server' service is highlighted, and its status is 'Running' (実行中), which is circled in red. The table below summarizes the visible services and their statuses.

名前	説明	状態	スタートアップ
Encrypting File System (EFS)	暗号...		手動 (ト)
Enterprise App Management Service	インタ...		手動
ESET HTTP Server	ESET ...	実行中	手動
ESET Remote Administrator Agent	ESET ...	実行中	自動
ESET Remote Administrator Server	ESET ...	実行中	自動 (遅)
ESET Service	ESET ...	実行中	自動
Extensible Authentication Protocol	拡張		手動

以上で、旧サーバーのデータベースのバックアップ手順は終了です。

続いては、**新サーバーに** EFSW のインストールを行います。

6. 【STEP2】 新サーバーで EFSW のインストール

STEP2-1. EFSW のインストール

新サーバーに EFSW をインストールし、ミラー機能を有効にします。

※旧サーバーの EFSW で設定している以下でご案内するミラー機能以外の項目について、新サーバーで再度設定してください。

なお、旧サーバーで設定した設定ファイルを読み込ませながら新サーバーでインストールを行う、設定読み込み型インストールもごさいます。詳細は以下の Web ページをご参照ください。

URL : https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/20?site_domain=business

<注意>

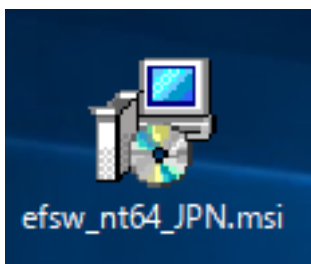
最新バージョン ESET Endpoint アンチウイルス / ESET Endpoint Security V6.6 をミラーサーバー経由でアップデートする場合は、以下のいずれかでミラーサーバーを作成する必要があります。

- ・ V6.6 に対応したミラーツール (2018/12/19 公開)
- ・ ESET Endpoint アンチウイルス / ESET Endpoint Security V6.6

各設定手順について、詳細は以下をご参考ください。

https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/103?site_domain=business

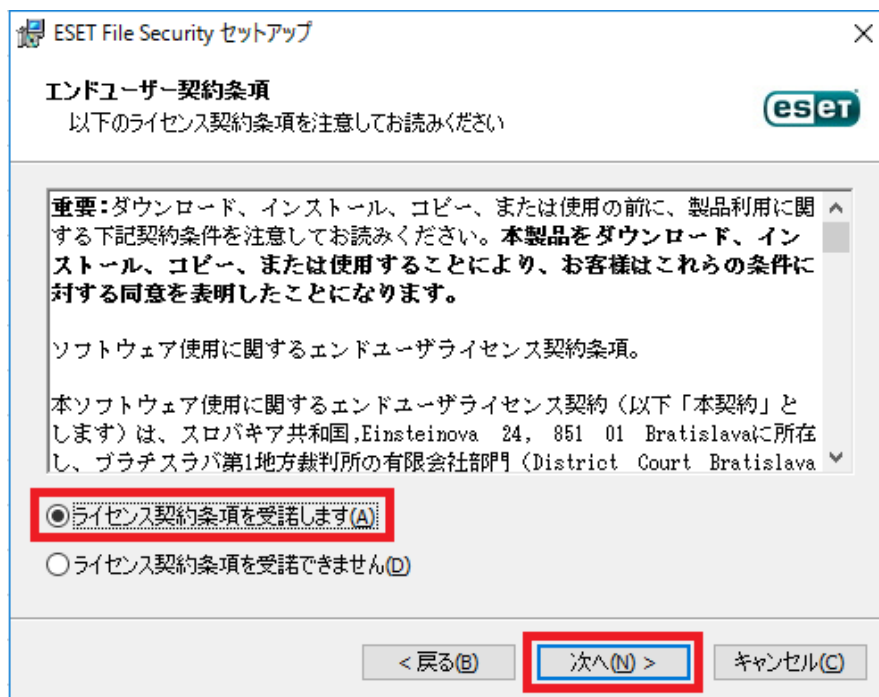
1. EFSW のインストーラー「efsw_nt64_JPN.msi」をダブルクリックします。



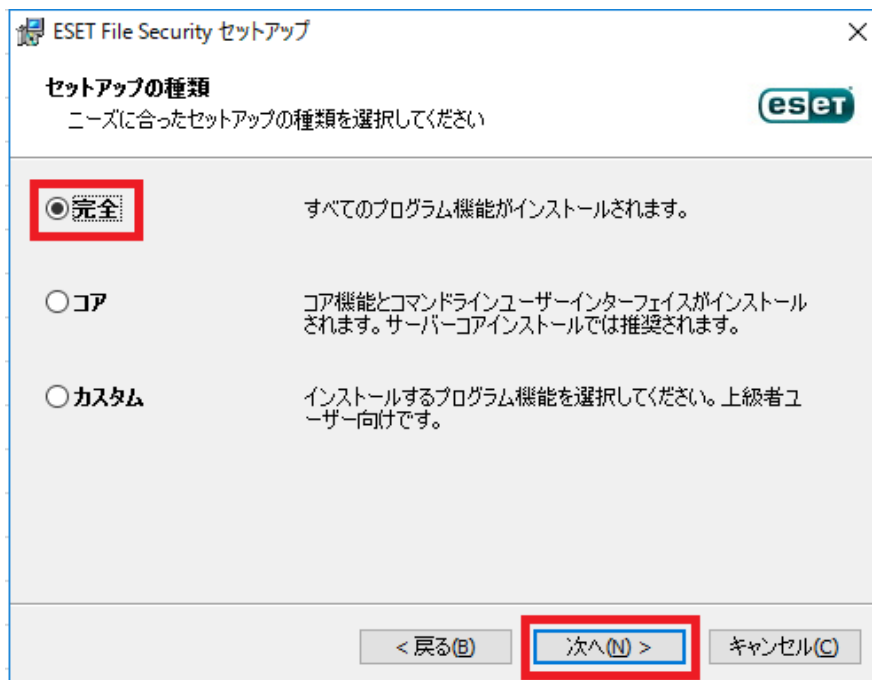
2. ESET File Security セットアップウィザードが表示されましたら、「次へ」をクリックします。



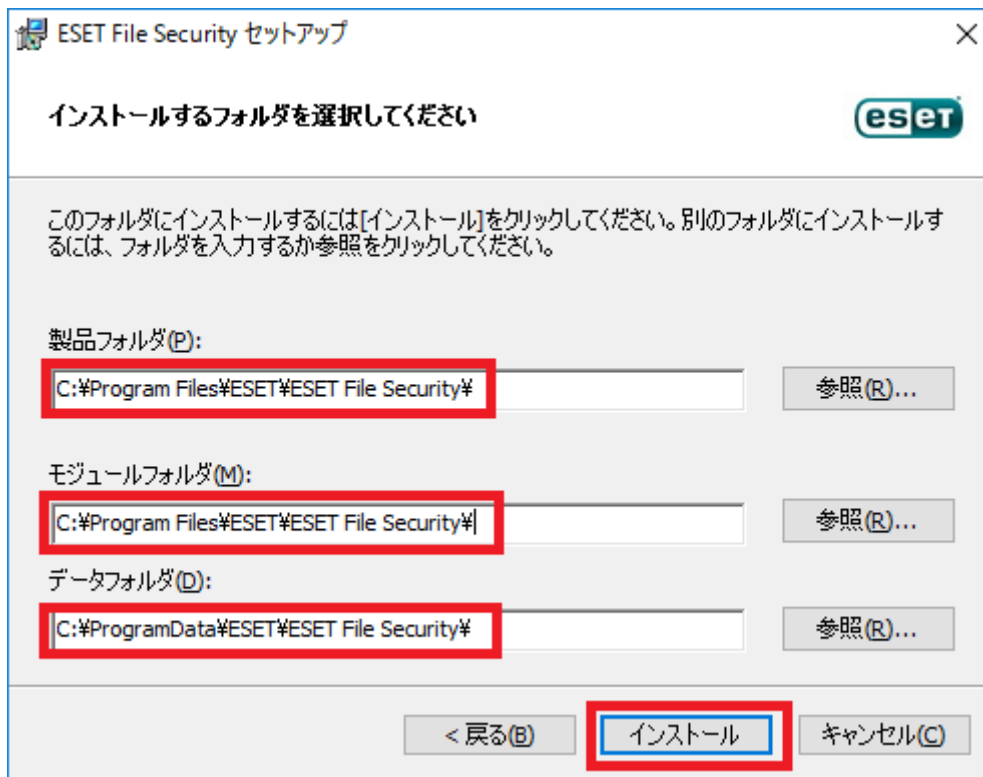
3. エンドユーザー契約条項を受諾し、「次へ」をクリックします。



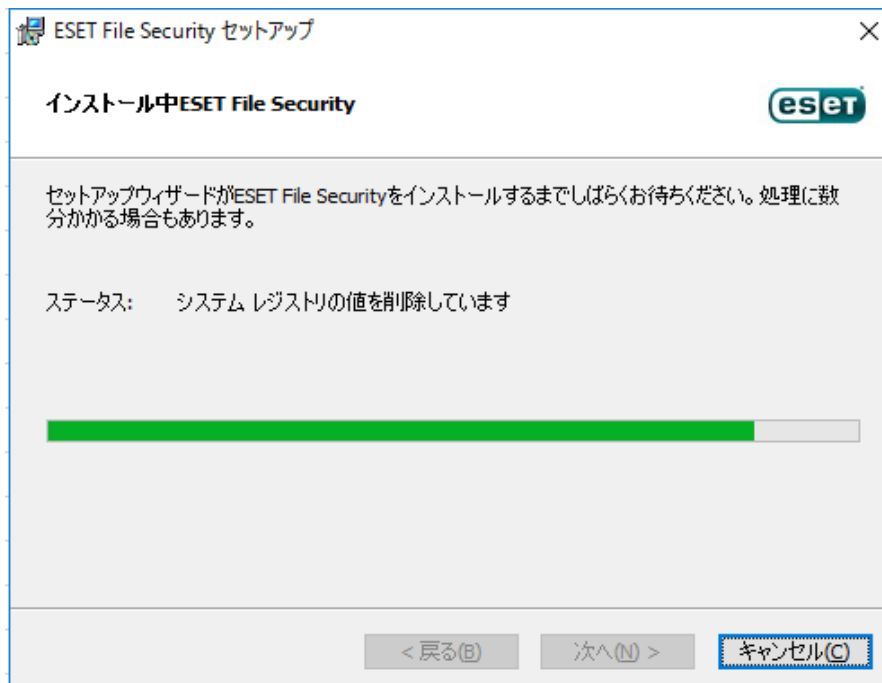
4. 「完全」を選択し、「次へ」をクリックします。



5. インストールするフォルダーを選択し、「インストール」をクリックします。
※既定では下の画像の赤枠のフォルダーにそれぞれインストールされます。



6. インストールが開始されます。



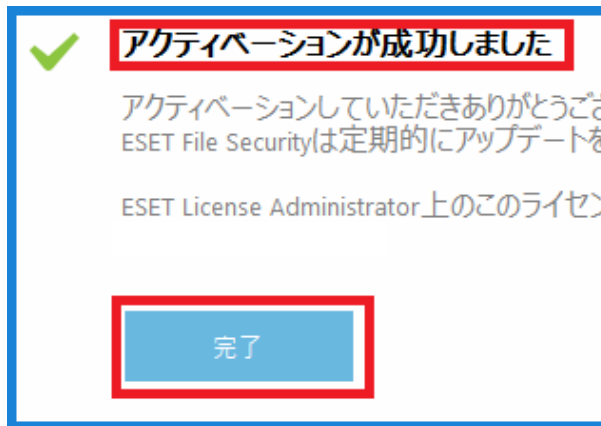
7. 「ESET File Security セットアップウィザードを完了しています」と表示されたら、「完了」をクリックし、インストールを完了させます。



8. しばらくすると製品のアクティベーション画面が表示されますので、製品認証キーを入力して、「アクティベーション」をクリックします。
※製品認証キーについては、P7の事前準備をご確認ください。



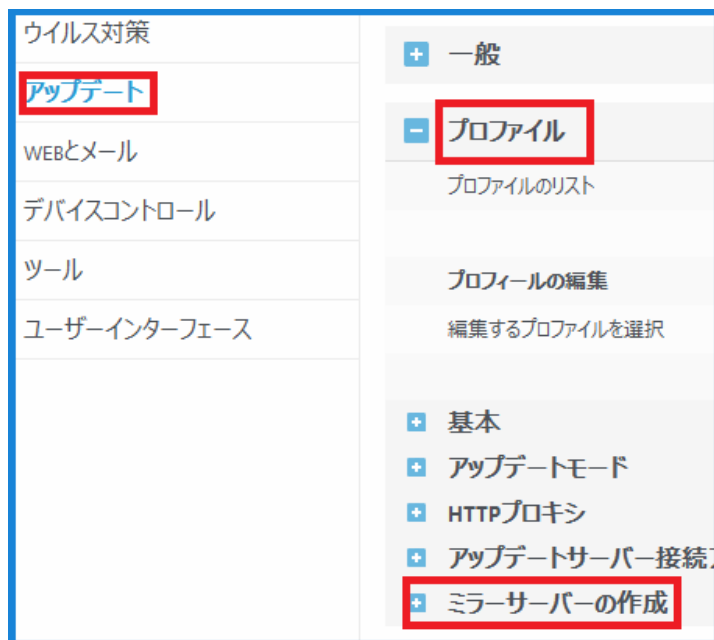
9. 「アクティベーションが成功しました」と表示されましたら、「完了」をクリックします。



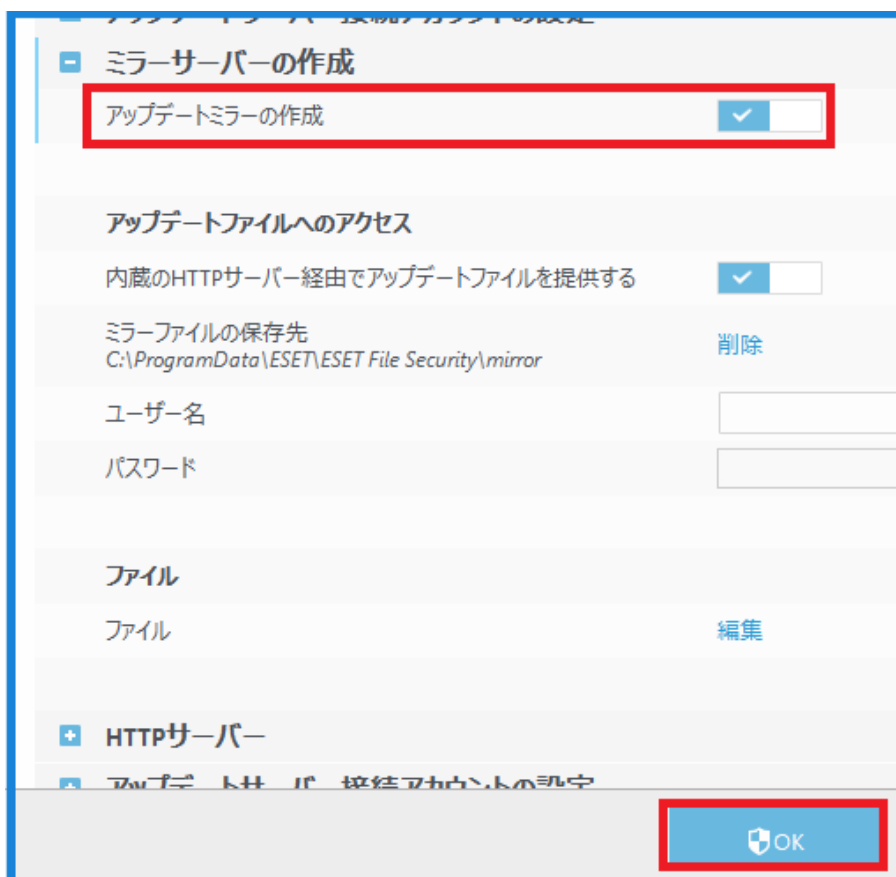
10. 続いては、ミラー機能を有効にします。
ESET のメイン画面より、「設定」→「詳細設定」をクリックします。



11. 「アップデート」 → 「プロファイル」 → 「ミラーサーバーの作成」をクリックします。



12. 「アップデートミラーの作成」を有効にし、「OK」をクリックします。



13. メイン画面のアップデートより、「今すぐアップデート」をクリックします。



14. ウイルス定義データベースのアップデートが開始されます。
※ミラーサーバー作成のため、アップデートに時間を要します。

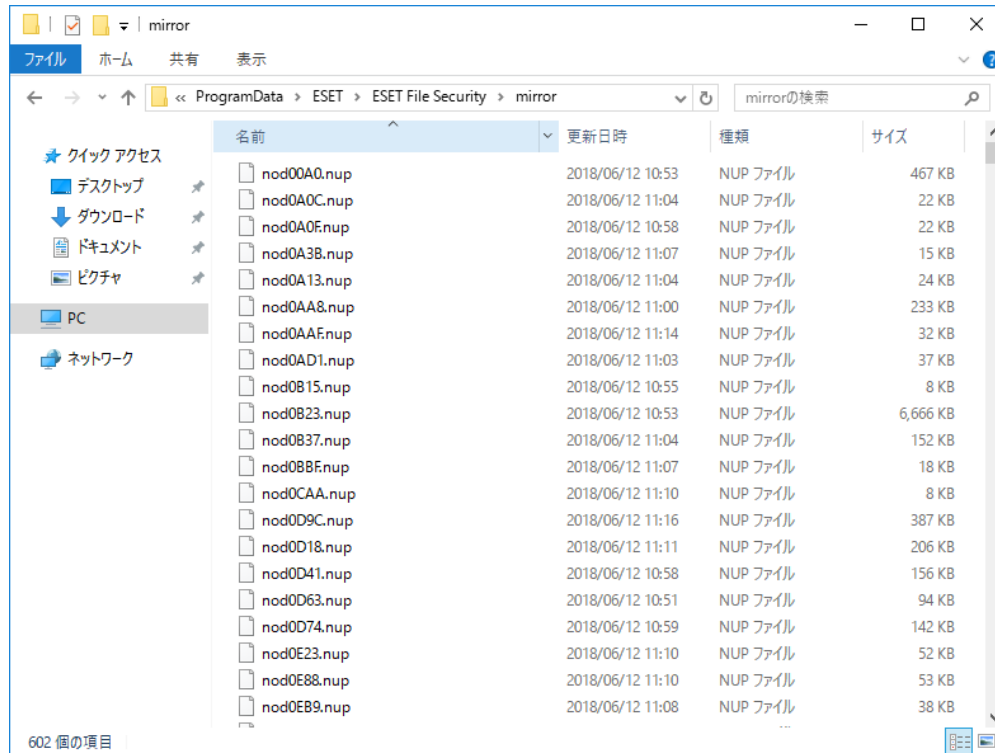


15. 「前回成功したアップデート」がアップデートを終えた日時と同じになっていることを確認します。



16. ウィルス定義データベースファイルが以下のフォルダーに保存されていることをご確認ください。

C:¥ProgramData¥ESET¥ESET File Security¥mirror



以上で、EFSW のインストール方法は終了です。

続いては、リストア作業と ERA のインストールを行います。

7. [STEP3] リストアと ERA インストール

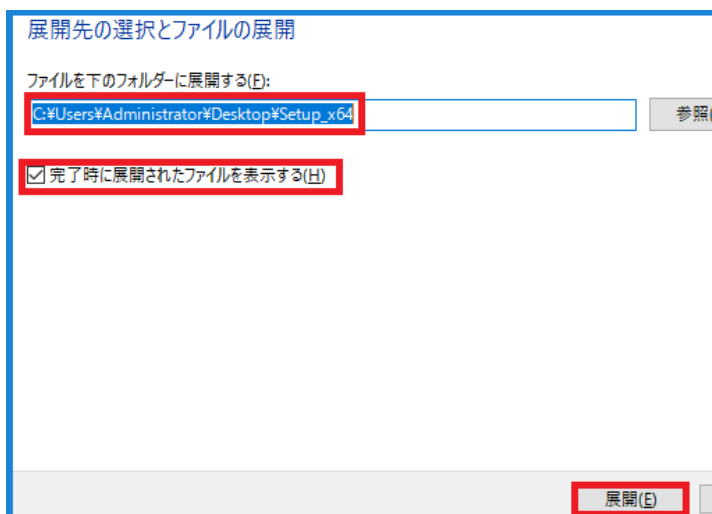
STEP3-1. MSSQL のインストール

ERA のオールインワンインストーラーを使用して、MSSQL のみをインストールします。
※このSTEP3-1の作業ではERAのオールインワンインストーラーのセットアップを一時中断してSTEP3-2に移ります。そのため、セットアップをそのまま進めてしまわないようご注意ください。

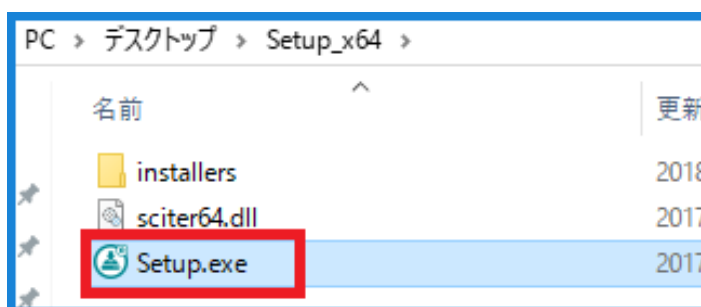
1. 事前準備でダウンロードした ERA のオールインワンインストーラー「Setup_x64.zip」を右クリックし、「すべて展開」をクリックします。



2. ファイルを展開させるフォルダーを選択し、以下の項目にチェックしてあることを確認して、「展開」をクリックします
☑完了時に展開されたファイルを表示する



3. フォルダーが開かれたら、「Setup.exe」をダブルクリックし、オールインワンインストーラーを起動します。



4. 言語は日本語を選択し、「次へ」をクリックします。

手順ビデオ
ESET Remote Administratorビデオガイドを含むESET You
示します。

言語 **日本語**

事前に用意されたコンテンツやリポジットに使用される言語を選択しま
言語選択には影響しません。

戻る 次へ

5. 以下の項目にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。
◎Remote Administrator サーバーのインストール

実行する処理を選択:

Remote Administratorサーバーのインストール
ESET製品をリモートで管理できます。

Remote Administratorプロキシのインストール
大規模なネットワークまたは遠隔地からの通信の負荷を分散します

モバイルデバイスコネクタのインストール(スタンドアロン)
モバイルデバイスをESET Remote Administratorに接続します。

Apache HTTP Proxyのインストール/アップグレード
アップデートと他のデータをキャッシュに保存し、ネットワーク負荷を軽減

戻る 次へ

6. エンドユーザーライセンス契約に同意して「次へ」をクリックします。

様]または「エンドユーザー」とします)との間で締結され、お客様に
条で定義する本ソフトウェアを使用する権利を付与するものです。本

ライセンス契約の条件に同意します

ライセンス契約の条件に同意しません

戻る 次へ

7. 【**Apache HTTP プロキシ (ミラーサーバーの代用)**】のチェックを外し、「インストール」をクリックします。
※Rogue Detection Sensor は任意でインストールしてください。

The screenshot shows a configuration window for ESET Remote Administrator V6. It contains several sections with checkboxes:

- Remote Administratorサーバー
 - Remote Administratorエージェント
 - モバイルデバイスコネクタ
 - Microsoft SQL Server Express
- Webコンソール
 - Apache Tomcat
- Rogue Detection Sensor
- Apache HTTPプロキシ(ミラーサーバーの代用) (highlighted with a red box)

At the bottom, there are two buttons: '戻る' (Back) and 'インストール' (Install) (highlighted with a red box).

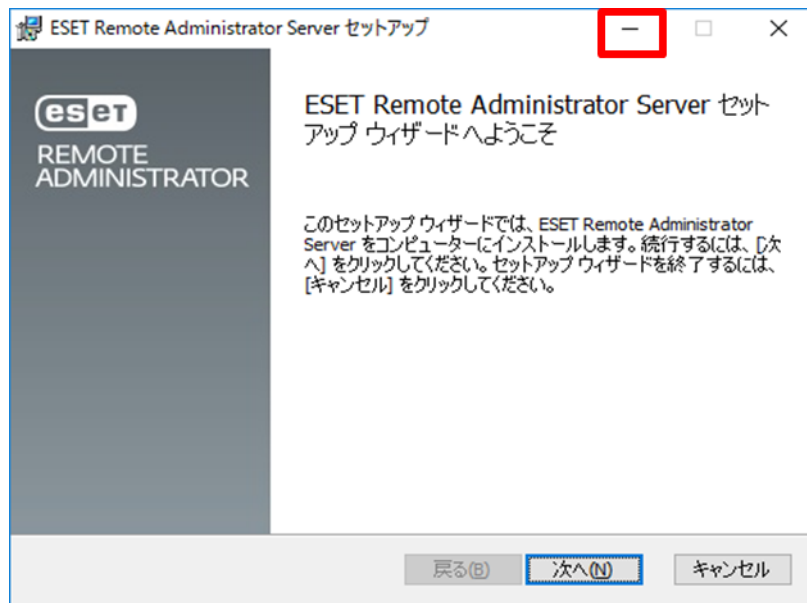
※以下のようなエラーが出ましたら、【Java Runtime Environment Version 7 Update 65】以降と【Microsoft .NET Framework 3.5】をインストールし、その後、「再試行」をクリックしてください。

The screenshot shows an error message dialog box with the following content:

- ! .NET v3.5がインストールされていません**
Windows Server OSの[サーバーマネージャー]の[機能の追加]を利用して.NET Framework 3.5をインストールしてください。Windows Server 2008以前の場合は、.NET Framework 3.5を次のURLからダウンロードしてインストールできます。 <http://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=21>
- ! .NET v2.0 SP2がインストールされていません**
次のロケーションから.NET v2.0 SP2をダウンロードしてインストール: <http://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=1639>
- ! 互換性があるバージョンのJava Runtime Environmentがインストールされていません**
サポートされる最低バージョンはJava Runtime Environment 7u65ですが、最新の使用可能なバージョンをインストールすることをお勧めします。次の場所からJava Runtime Environmentをダウンロードしてインストールしてください。 <http://java.com/en/download/>

At the bottom, there are three buttons: '戻る' (Back), '再試行' (Retry) (highlighted with a red box), and '閉じる' (Close).

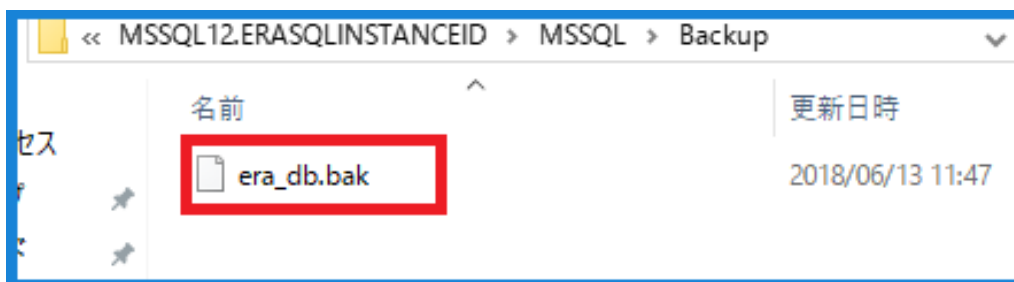
8. ESET Remote Administrator セットアップウィザードが表示されましたら **【次へ】をクリックせずに**、最小化してください。



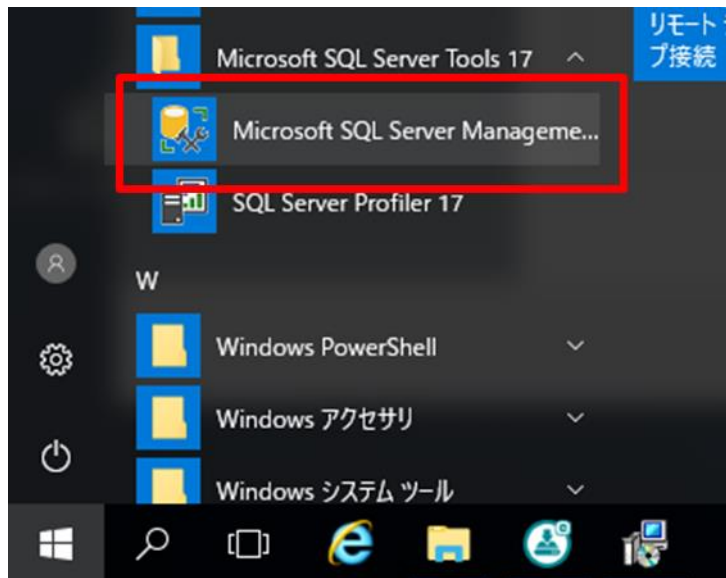
STEP3-2. データベースのリストア

STEP1 で作成した旧サーバーのデータベースのバックアップファイルを使って、新サーバーにリストアを行います。以下の手順で、データベースのリストアを行ってください。

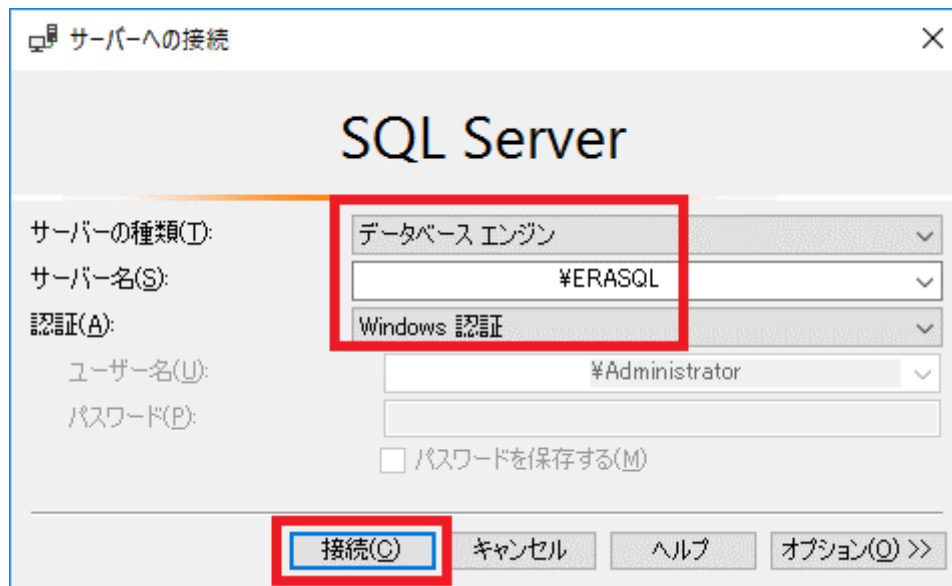
1. STEP1-2 で作成したバックアップファイル(era_db.bak)を以下のフォルダーに移動してください。
C:¥ Program Files¥Microsoft SQL Server¥ MSSQL12.ERASQLINSTANCEID¥ MSSQL¥Backup



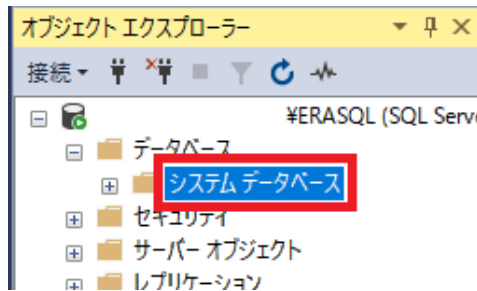
2. 「スタートボタン」→「Microsoft SQL Server Tools 17」→「Microsoft SQL Server Management Studio 17」をクリックし、SQL Server Management Studio17 を起動します。
※初めて起動する場合、起動に少々お時間がかかります。



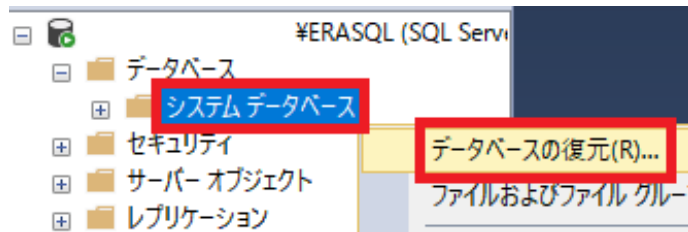
3. サーバーへの接続画面で、項目が以下のようになっていることを確認して「接続」をクリックします。
サーバーの種類：データベースエンジン
サーバー名：コンピュータ名¥ERASQL
認証：Windows 認証



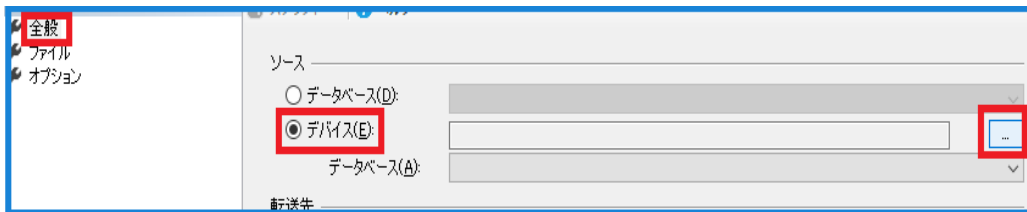
- オブジェクトエクスプローラーから「インスタンス名」 - 「データベース」 - 「システムデータベース」に移動します。



- 'システムデータベース' を右クリックして「データベースの復元」をクリックします。

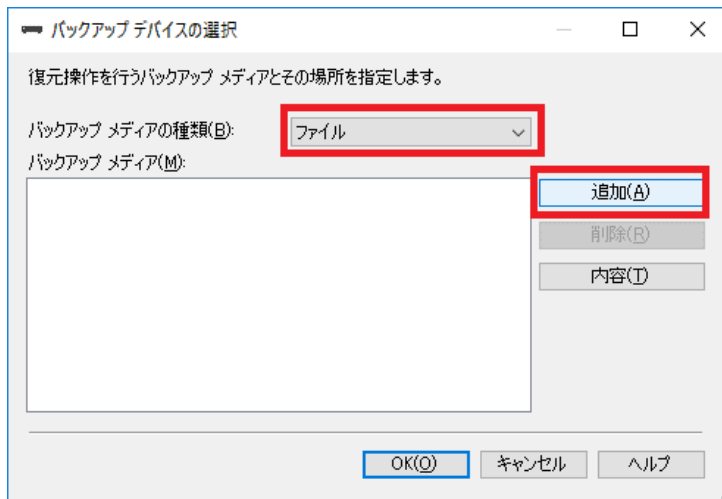


- 「全般」画面で「ソース」内の「デバイス」にチェックを入れ、「...」をクリックします。

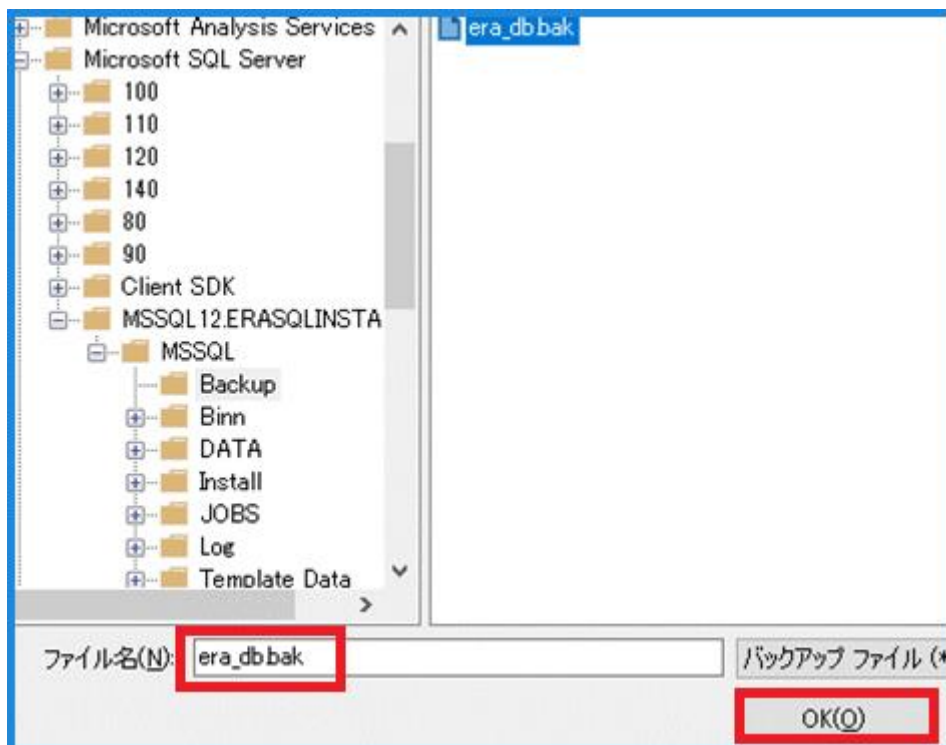


- 「バックアップデバイスの選択」画面で、以下の設定になっていることを確認し「追加」をクリックします。

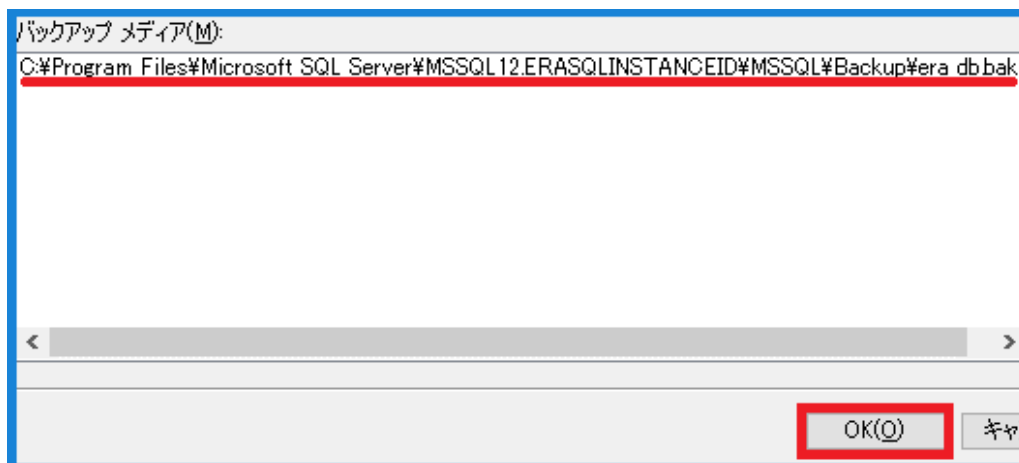
バックアップ メディアの種類：ファイル



- 手順1で移動させたバックアップファイル(era_db.bak)を選択し、「OK」をクリックします。



- era_db.bak が選択されていることを確認して、「OK」をクリックします。



10. 以下の設定になっていることを確認します。

- ① 転送先
データベース : era_db
- ② 復元プラン
復元 :

復元	名前	コンポーネント	型
<input checked="" type="checkbox"/>	era_db-完全	データベース	バックアップ

11. 「オプション」を選択し、以下の設定にチェックを入れ、「OK」をクリックするとリストアが開始されます。

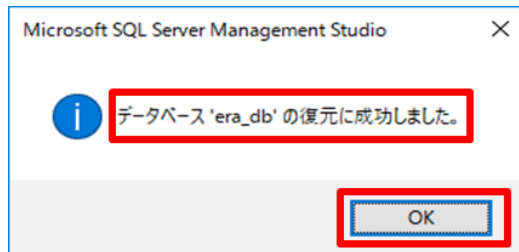
- ① 既存のデータベースを上書きする
- ② 各バックアップを復元する前に確認する

① 既存のデータベースを上書きする (WITH REPLACE)(R)

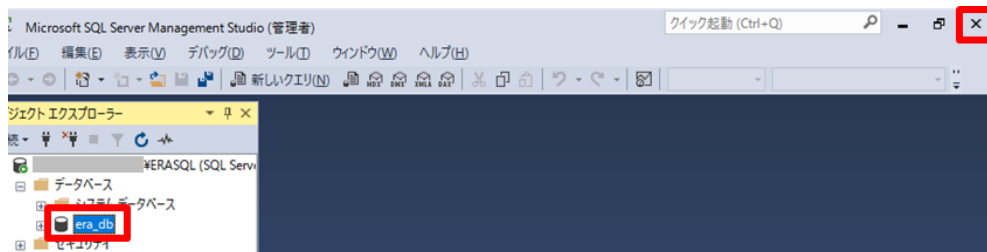
② 各バックアップを復元する前に確認する (M)

OK

12. 以下メッセージが表示されましたらリストアは正常に終了しておりますので、「OK」をクリックします。
「データベース'era_db'の復元に成功しました。」



13. 「インスタンス名」 - 「データベース」の配下に「era_db」が作成されていることを確認して、Microsoft SQL Server Management Studio を「×」で閉じます。



STEP3-3. ERA のインストール

ERA のコンポーネントをインストールします。

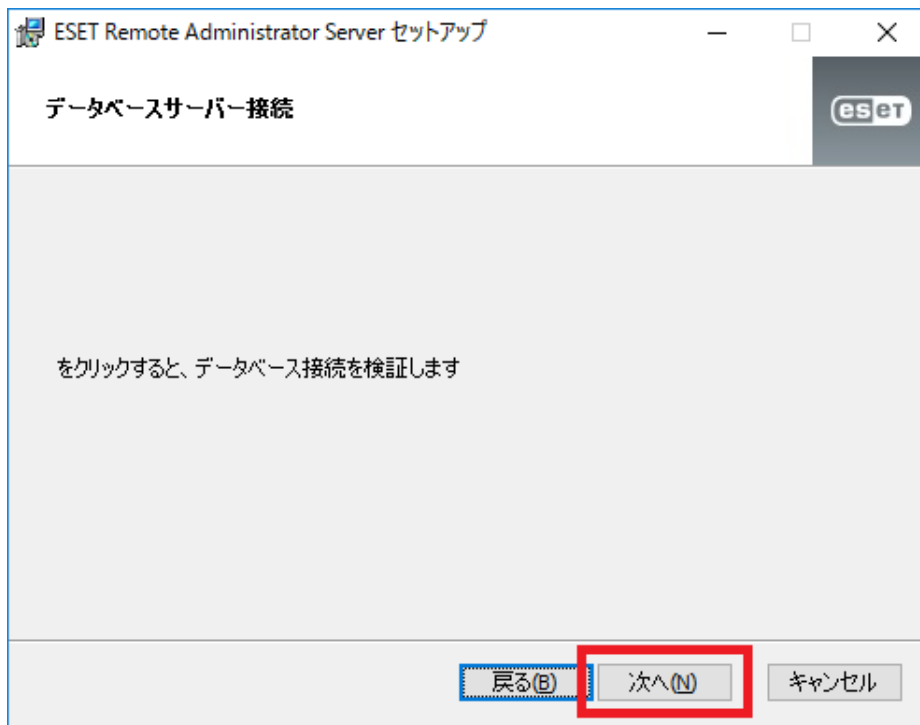
1. STEP3-1 の手順 8 で最小化していた、ウィンドウを開きます。



2. ESET Remote Administrator セットアップウィザードの画面が表示されましたら、「次へ」をクリックします。



3. 以下の画面が表示されましたら、「次へ」をクリックします。



4. 「Web コンソールユーザーとサーバー接続」画面にて以下を選択して「次へ」をクリックします。
既にデータベースに保存されている管理者パスワードを使用する

Webコンソールユーザーとサーバー接続

Webコンソールのユーザー名とパスワード、サーバーの接続ポートを入力してください。

既にデータベースに保存されている管理者パスワードを使用する

新しい管理者パスワードを使用する

パスワード:

パスワード確認:

エージェントポート:

コンソールポート:

戻る(B) 次へ(N)

5. 「証明書情報」画面にて権限共通名の項目を入力し、「次へ」をクリックします。
※既定で入力されている「**サーバー認証局**」以外の共通名に設定してください。

ESET Remote Administrator Server セットアップ

証明書情報
以下に共通証明書情報を入力してください。

組織単位:

組織:

ローカル:

州/国: ▼

証明書の有効期間: * 年 ▼

権限共通名: *

権限パスワード:

* 必須フィールド

戻る(B) **次へ(N)** キャンセル

6. 「ESET Remote Administrator のアクティベーション」画面にて以下の項目にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。
◎後からアクティベーション

ESET Remote Administratorのアクティベーション
以下のアクティベーションオプションを選択してください。

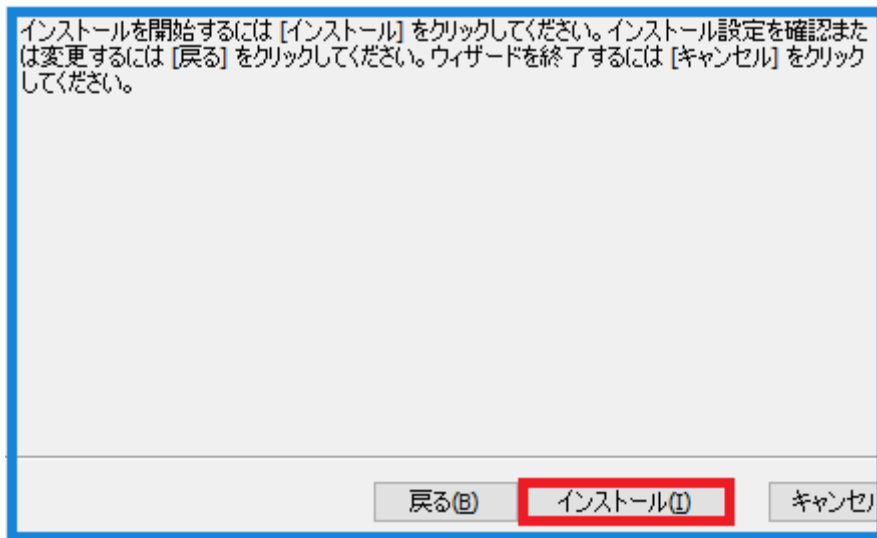
後からアクティベーション

製品認証キーでアクティベーション

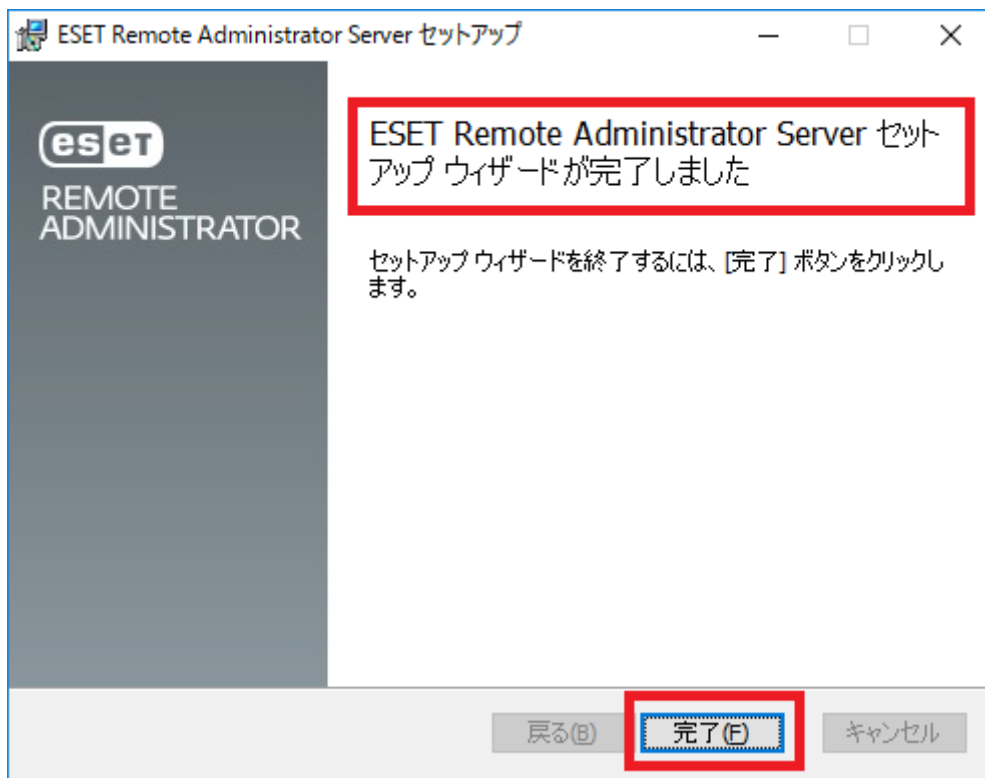
製品認証キー:

戻る(B) **次へ(N)**

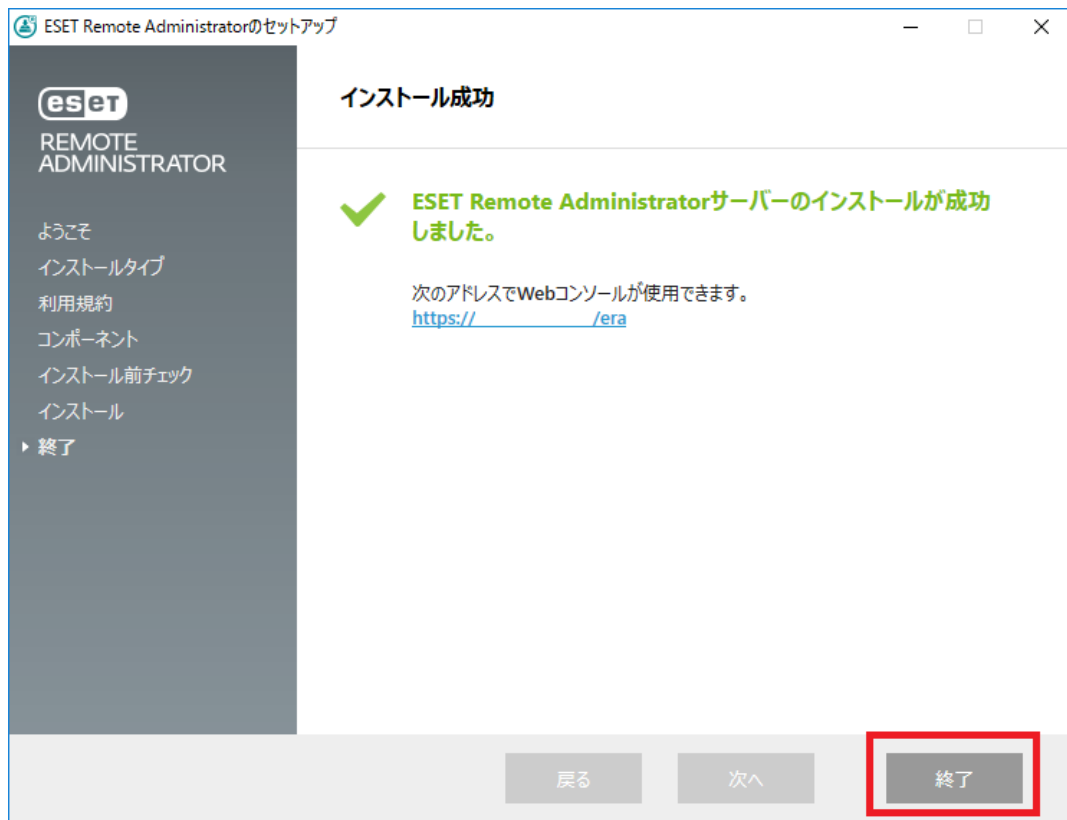
7. 「インストール」をクリックして、ERA サーバーのインストールを開始します。



8. 「ESET Remote Administrator Server セットアップウィザードが完了しました」と表示されたら、「完了」をクリックします。



9. 全てのコンポーネントがインストールされると以下のような画面が表示されます。「終了」をクリックして、インストールを終了してください。



以上で、新サーバーへのリストア作業と ERA のインストールは終了です。

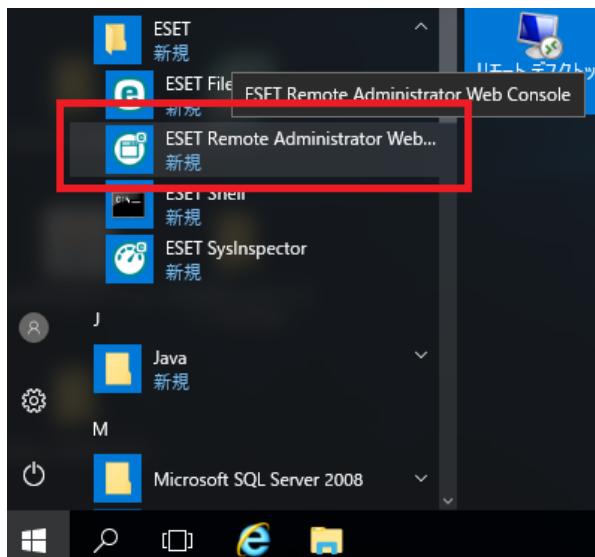
続いては、ERA サーバーのセットアップを行います。

8. [STEP4] ERA サーバーのセットアップ

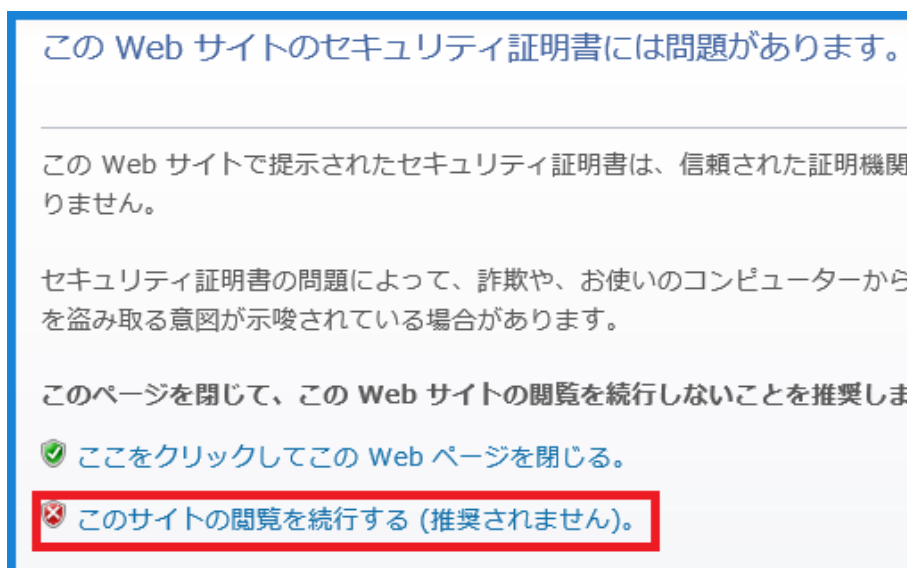
STEP4-1. ERA サーバーの証明書変更

ERA サーバーに設定されているサーバー証明書が STEP3-3 で ERA をインストールした際に作成された証明書となっているため、旧サーバーで使用していた証明書に変更します。

1. 「スタートボタン」→「ESET」→「ESET Remote Administrator Web Console」をクリックし、ERA の Web コンソールを開きます。



2. 「このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)」をクリックします。



※ここでは、ERA のインストール時に独自に作成したセキュリティ証明書を利用しているため、管理画面アクセス時に上記の注意画面が表示されます。

※お使いのブラウザにより表示内容が異なります。

3. 言語を日本語に設定し、旧サーバーで使用していたユーザー名とパスワードを入力し、ログインをクリックします。



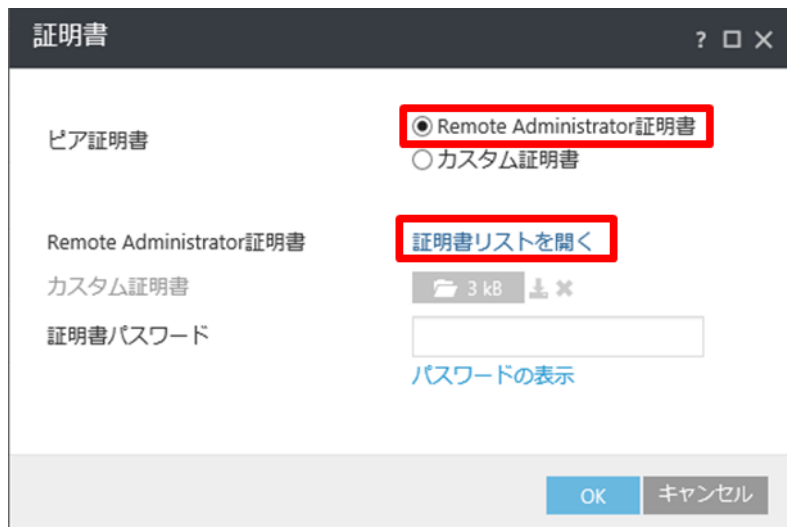
4. Web コンソール画面の右上のクイックリンクから、「サーバーの設定」をクリックします。



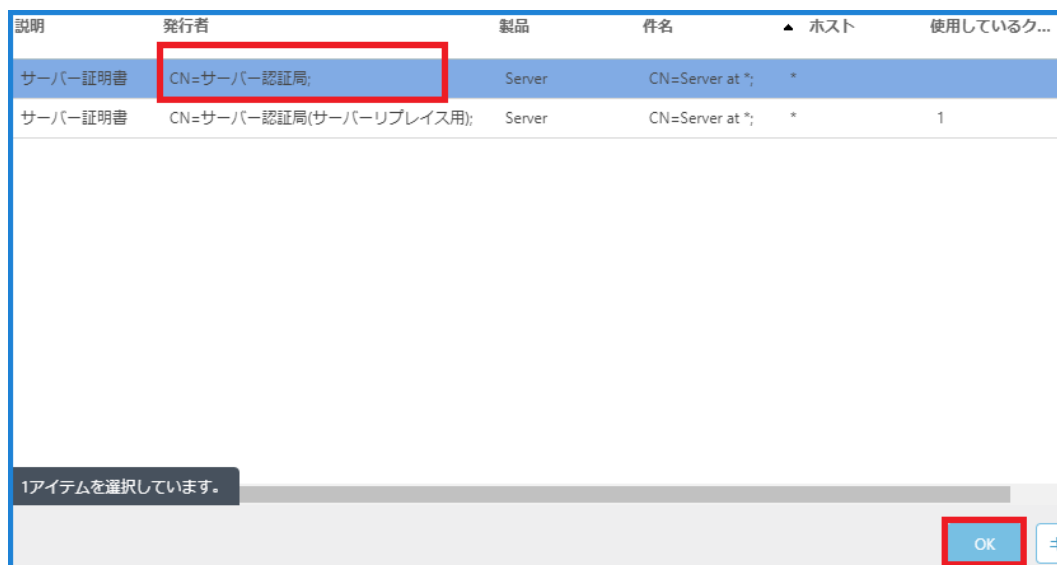
5. 「証明書の変更」をクリックします。



- ピア証明書の「Remote Administrator 証明書」にチェックが入っていることを確認して「証明書リストを開く」をクリックします。



- 発行者が **STEP3-3 の手順 5** で入力した名前とは異なる証明書を選択し「OK」をクリックします。



- 旧サーバーの証明書でパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してから、「OK」をクリックします。

証明書

ピア証明書 Remote Administrator証明書
 カスタム証明書

Remote Administrator証明書 [証明書リストを開く](#)

カスタム証明書 3 kB

証明書パスワード [パスワードの表示](#)

OK キャンセル

- 手順7で選択した証明書であることを確認して「保存」をクリックします。

高度なセキュリティ(再起動が必要)

証明書(再起動が必要) [証明書の変更](#)

件名 (CN=Server at *; [SN:0185c2e71d9a054cc596cdf85eac38680601]), 発行者 (CN=サーバー認証局), 有効開始日 (2018年2月8日 0:00:00), 有効期限 (2028年2月6日 0:00:00), 件名代替名 (*)

+ 更新

+ 詳細設定

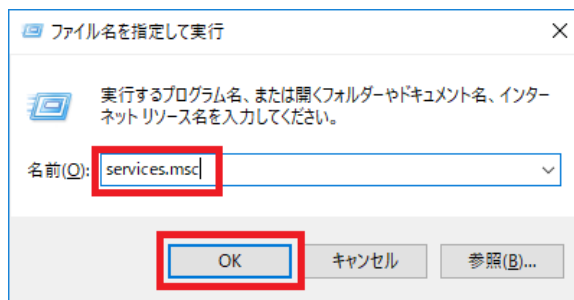
+ カスタマイズ

保存 キャンセル

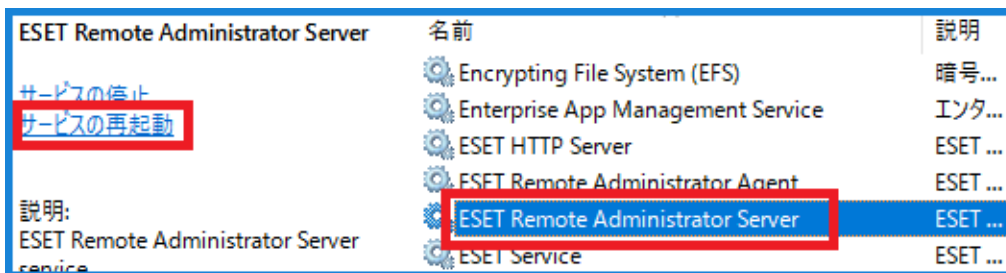
10. チェックが付いていることを確認して、ブラウザを閉じます。



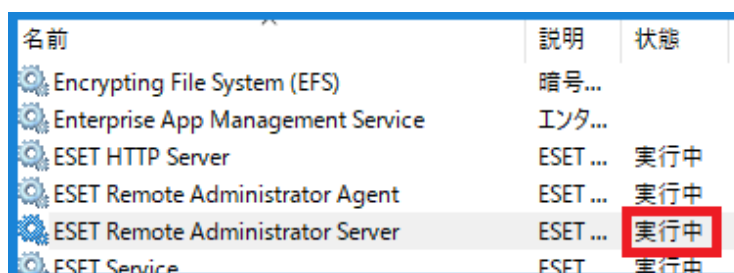
11. 「Windows キー」 + 「R」でファイル名を指定して実行させるウィンドウを開き「services.msc」と入力し、「OK」をクリックします。



12. 「ESET Remote Administrator Server」サービスを選択し、サービスの再起動をクリックします



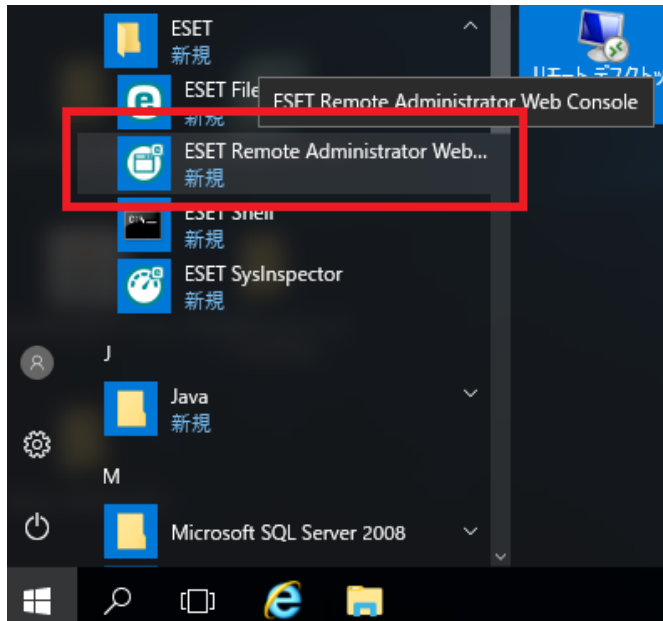
13. 「ESET Remote Administrator Server」サービスの状態の状態が実行中になっていることを確認します。



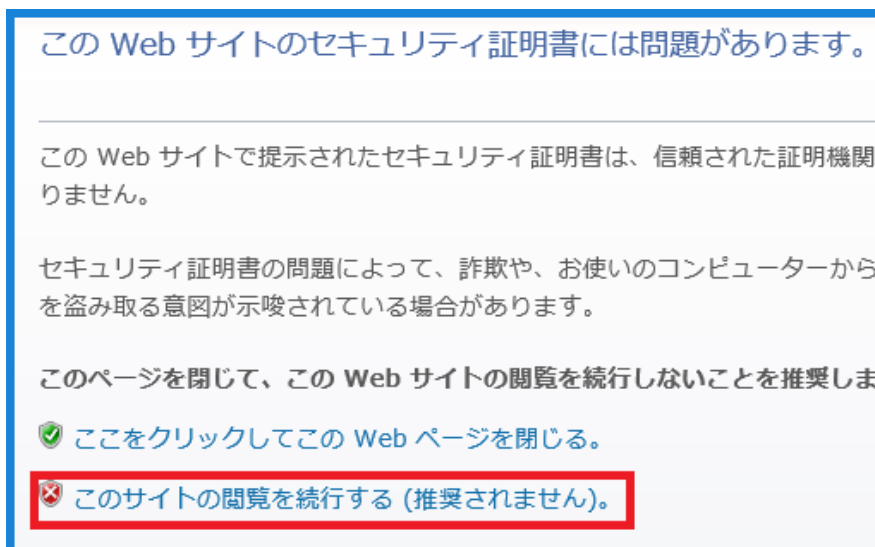
STEP4-2. ERA エージェントの証明書変更

新サーバーにインストールされた ERA エージェントは、インストール時に設定した証明書を使用して接続しているため、ポリシーの機能を使用して旧サーバーで使用していた証明書への変更を行います。

1. 「スタートボタン」→「ESET」→「ESET Remote Administrator Web Console」をクリックし、ERA の Web コンソールを開きます。



2. 「このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)」をクリックします。

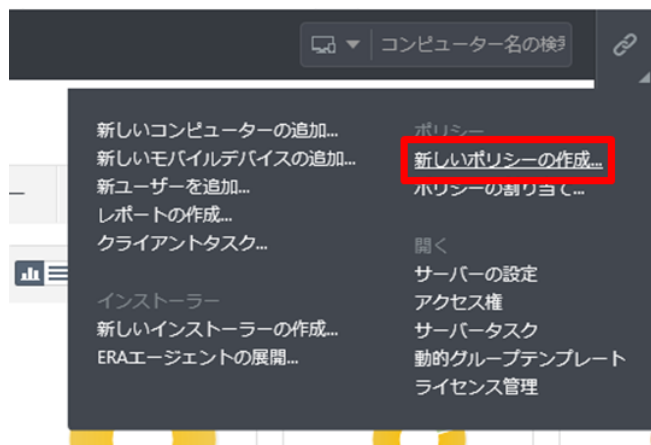


※ここでは、ERA のインストール時に独自に作成したセキュリティ証明書を利用しているため、管理画面アクセス時に上記の注意画面が表示されます。
※お使いのブラウザにより表示内容が異なります。

3. 言語を日本語に設定し、ユーザー名とパスワードを入力し、ログインします。



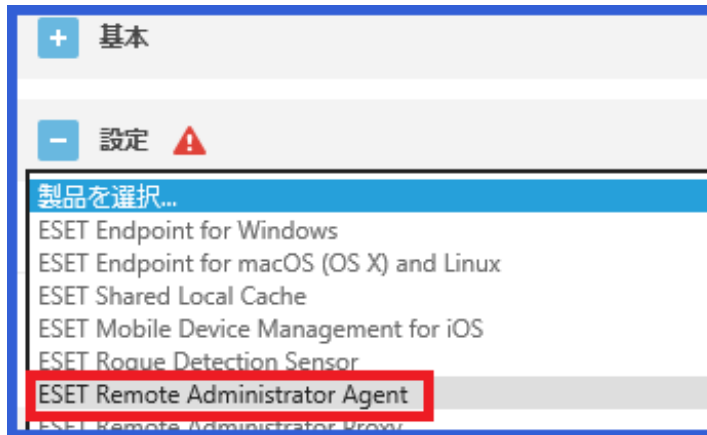
4. Web コンソール画面の右上のクイックリンクから、「新しいポリシーの作成」をクリックします。



5. 基本のセクションでポリシーの名前と説明を任意に入力します。



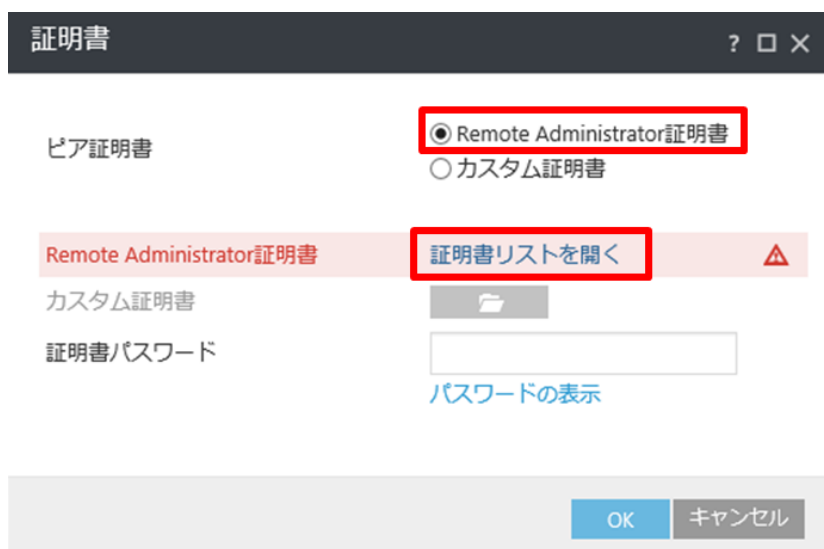
6. 設定のセクションで製品として「ESET Remote Administrator Agent」を選択します。



7. 「証明書の変更」をクリックします。



8. ピア証明書が「Remote Administrator 証明書」となっていることを確認して「証明書リストを開く」をクリックします。



9. 説明が「サーバー証明書」かつ、発行者が **STEP4-3 の手順5** で入力した名前と異なる証明書を選択して、「OK」をクリックします。

説明	発行者	製品	件名
サーバー証明書	CN=サーバー認証局;	Agent	CN=Agent at *;
サーバー支援インストールのエー...	CN=サーバー認証局;	Agent	CN=Agent at *;
サーバー証明書	CN=サーバー認証局(サーバーリプレイス用);	Agent	CN=Agent at *;
サーバー支援インストールのエー...	CN=サーバー認証局(サーバーリプレイス用);	Agent	CN=Agent at *;

1アイテムを選択しています。

OK

10. 旧サーバーの ERA エージェントの証明書にパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してから、「OK」をクリックします。

証明書

ピア証明書 Remote Administrator証明書
 カスタム証明書

Remote Administrator証明書 [証明書リストを開く](#)

カスタム証明書

証明書パスワード

OK キャンセル

11. 手順9で選した証明書となっていることを確認します。

証明書 証明書の変更

件名 (CN=Agent at *; [SN:01ad35b6e98d67480c91228db27170fb5901]), 発行者 (CN=サーバー(-認証局); 有効期限 (2028/2/6 0:00:00), 件名代替名 (*)

+ 更新

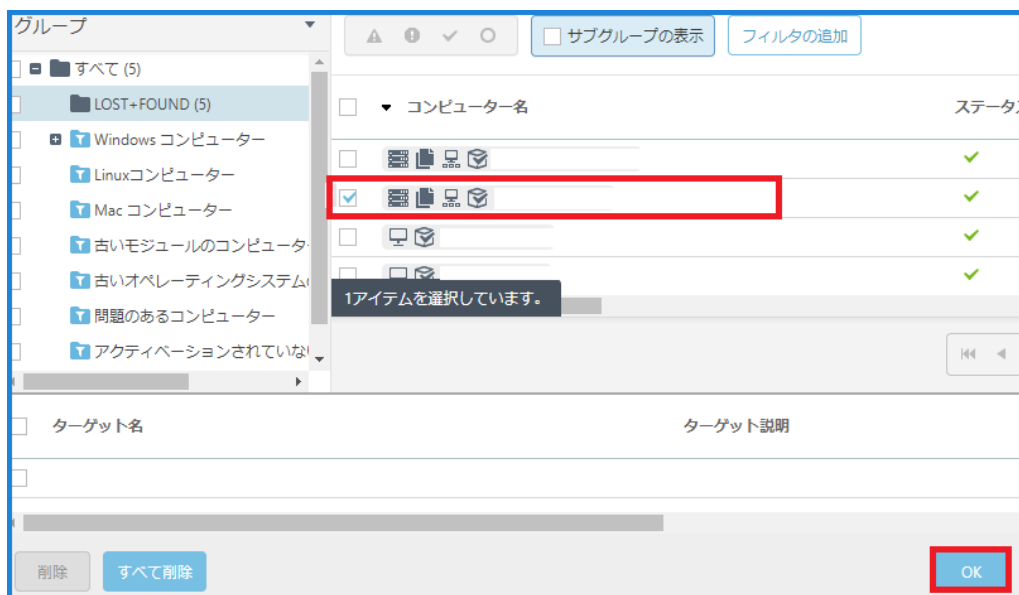
+ 詳細設定

+ 割り当て

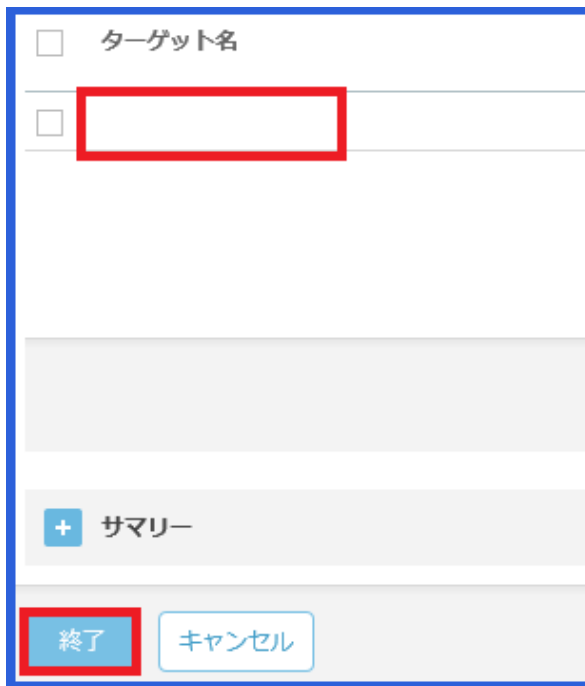
12. 割り当てのセクションで、「割り当て」をクリックします。



13. 新 ERA サーバーにチェックを入れ、「OK」をクリックします。



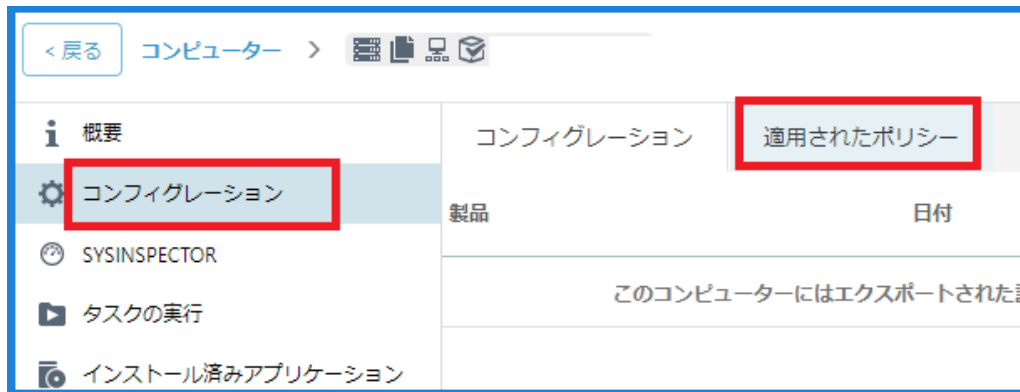
14. 新 ERA サーバーが選択されていることを確認して、「終了」をクリックします。



15. コンピュータのセクションに移動し、新 ERA サーバーを選択して、「詳細を表示」をクリックします。



16. 「コンフィグレーション」に移動し、「適用されたポリシー」をクリックします。



17. 作成したポリシーが「適用中」になっていることを確認します。



以上で、新サーバーのセットアップは終了です。

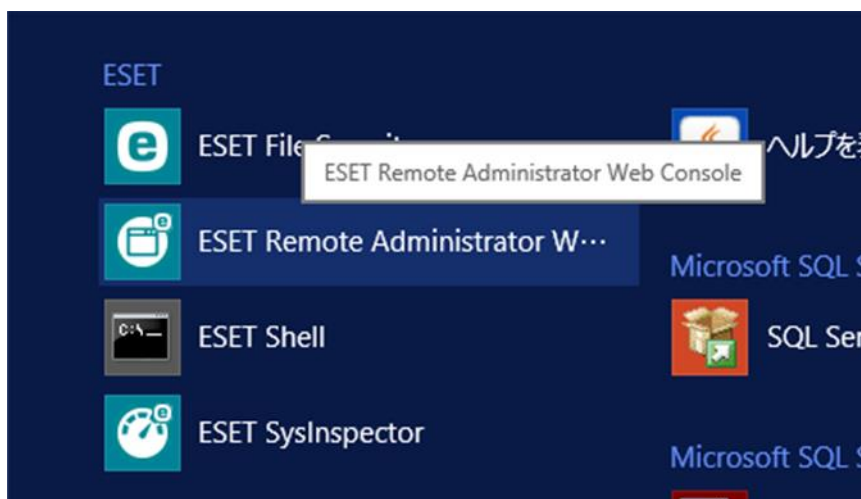
続いては、**旧サーバー**にて、管理しているクライアントの接続先を新サーバーに変更する作業を行います。

9. 【STEP5】 クライアントの接続先の変更

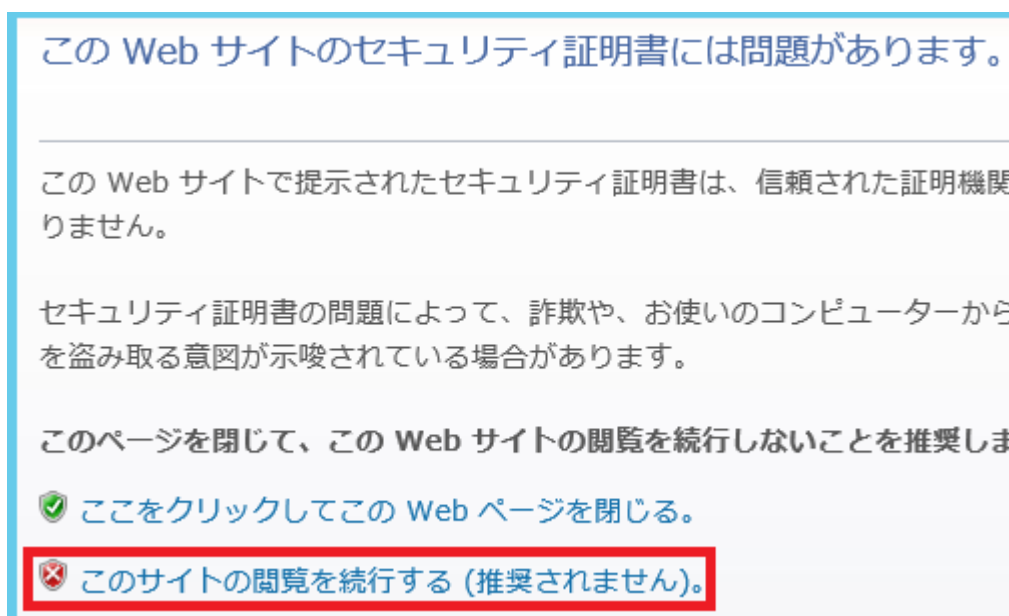
STEP5-1. クライアントの接続先の変更

クライアントの接続先を新サーバーに変更するため、旧サーバーからポリシーを配布します。以下の手順でクライアントの接続先を変更してください。

1. 「スタートボタン」→「ESET Remote Administrator Web Console」をクリックし、ERA の Web コンソールを開きます。



2. 「このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)」をクリックします。



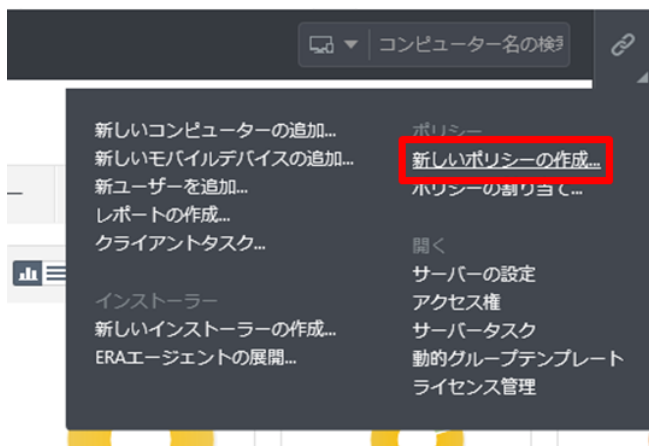
※ここでは、ERA のインストール時に独自に作成したセキュリティ証明書を利用しているため、管理画面アクセス時に上記の注意画面が表示されます。

※お使いのブラウザにより表示内容が異なります。

3. 言語を日本語に設定し、旧サーバーで使用していたユーザー名とパスワードを入力し、ログインをクリックします。



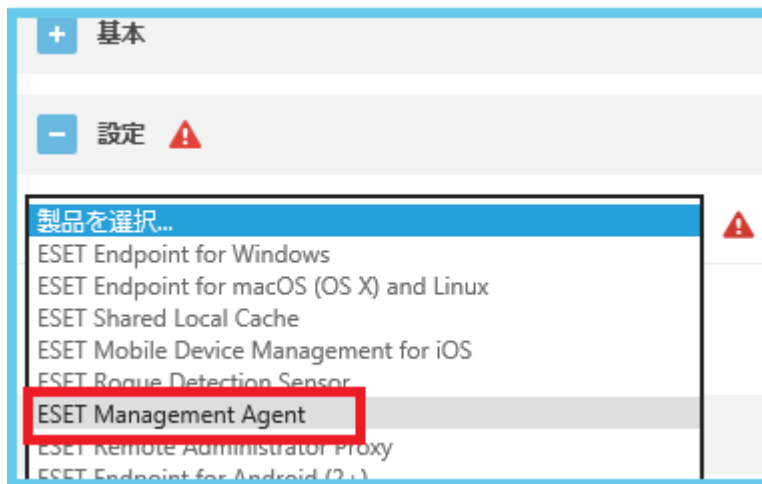
4. Web コンソール画面の右上のクイックリンクから、「新しいポリシーの作成」をクリックします。



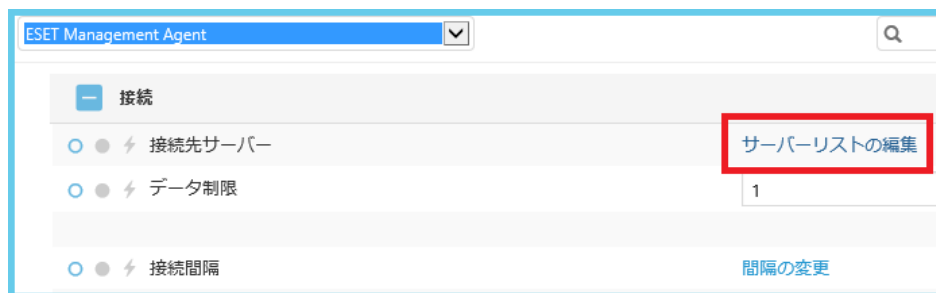
5. 作成するポリシーの「名前」と「説明」の欄を必要に応じて入力し、「設定」をクリックします。



6. 「製品の選択」から、「ESET Management Agent」をクリックします。



7. 接続サーバーの「サーバーリスト編集」をクリックします。



8. 「追加」をクリックします。



9. 以下の入力し、「OK」をクリックします。
ホスト：新サーバーの IP アドレス又はコンピュータ名
ポート：2222（既定で 2222 となっております）

追加

ホスト

ポート

2222

OK キャンセル

10. サーバーとポートが手順9で入力した値になっていることを確認して「保存」をクリックします。

サーバー

ポート

2222

追加 編集 削除

保存 キャンセル

11. 接続先サーバーの項目を「⚡」にして、「割り当て」をクリックします。

接続

接続先サーバー

データ制限

接続間隔

R R/1 ***?*

証明書

更新

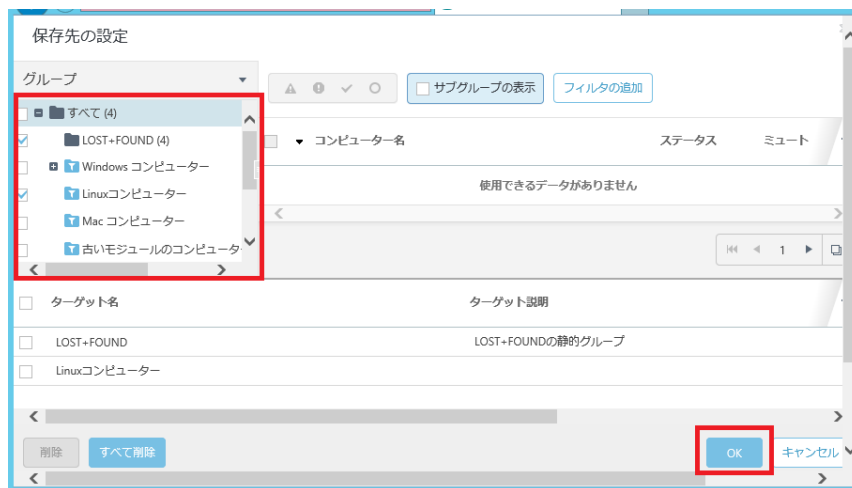
詳細設定

割り当て

12. 「割り当て」をクリックします。



13. ポリシーを割り当てたいグループにチェックをいれ、「OK」をクリックします。
 ※(例 1)管理しているクライアント全ての場合、 「すべて」 にチェックします。
 (例 2)グループ毎に徐々に移行していく場合は、グループ毎にチェックします。



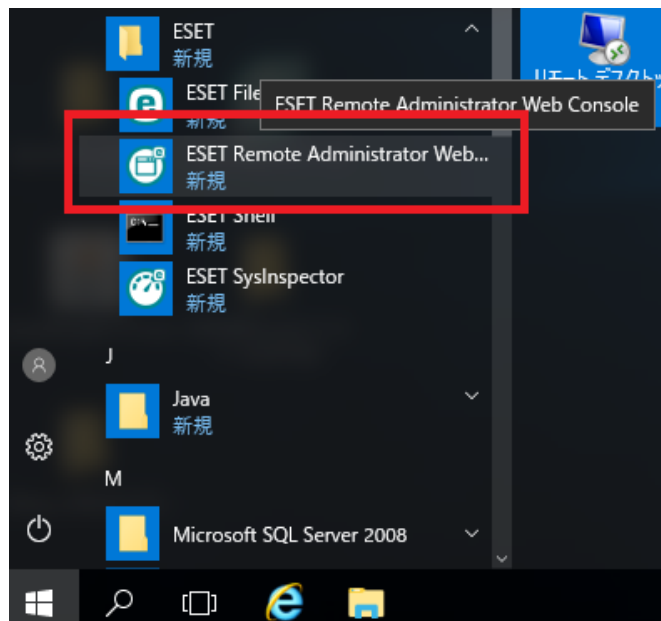
14. 手順 13 でチェックしたグループがターゲット名に表示されていることを確認して、「終了」をクリックします。



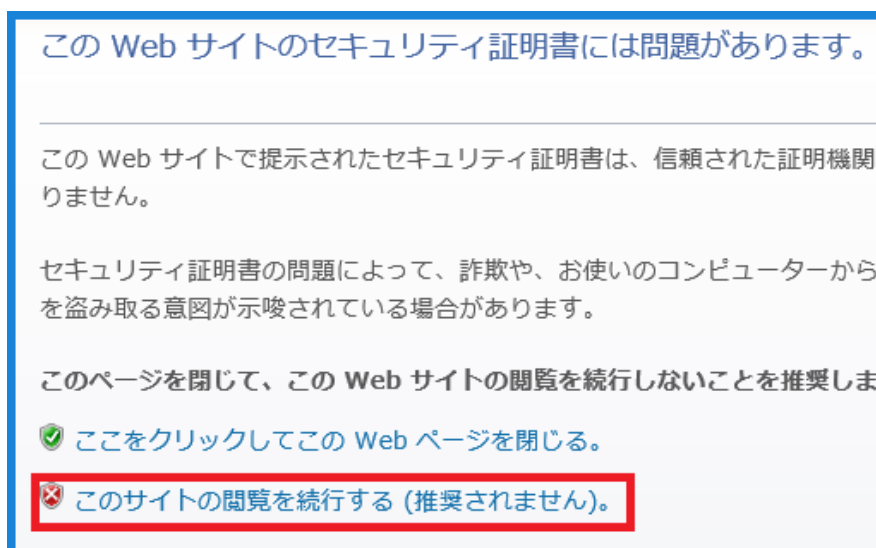
STEP5-2. クライアントの接続確認

新サーバーにて旧サーバーで管理していたクライアントが接続できているかを確認します。

1. 「スタートボタン」→「ESET」→「ESET Remote Administrator Web Console」をクリックし、ERA の Web コンソールを開きます。



2. 「このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)」をクリックします。



※ここでは、ERA のインストール時に独自に作成したセキュリティ証明書を利用しているため、管理画面アクセス時に上記の注意画面が表示されます。

※お使いのブラウザにより表示内容が異なります。

3. 言語を日本語に設定し、ユーザー名とパスワードを入力し、ログインします。



4. STEP5-3 の手順 1 3 で選択したグループに所属しているクライアントの最終アクセスの時間が更新されていれば、クライアントは新サーバーに接続ができております。
※コンピュータの一覧には、旧サーバーの情報が残っておりますので、必要なければ削除してください。

すべてのデバイス		ステータス	ミュート	モジュール	最終アクセス	未解決
LOST+FOUND (5)						
<input type="checkbox"/>		✓		更新	2018年 7月 5日 11:08:07	
<input type="checkbox"/>		✓		更新	2018年 9月 21日 13:49:21	42
<input type="checkbox"/>		✓		更新	2018年 9月 21日 13:48:01	2
<input type="checkbox"/>		!		更新	2018年 9月 21日 13:49:19	7
<input type="checkbox"/>		!		更新	2018年 9月 21日 13:49:19	4

最終的に旧サーバーで管理を行っていた全てのクライアントが新サーバーに接続できていることが確認できれば、サーバーリプレイスに伴う、ESET Remote Administrator 移行作業は終了です。

<注意>

サーバーリプレイスに伴い、旧サーバーの EFSW が不要になった場合は、アクティベーションを解除すると新サーバーや他の端末でライセンスを使用することができます。通常は、EFSW のアンインストールでアクティベーションを解除することが可能です。アクティベーション解除について、詳細は以下をご参照してください。

URL: https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/4304?site_domain=business

弊社 ESET サポートサイト情報ページにて、製品機能・仕様・操作手順などの情報を公開していますので、ご利用ください。

- ESET サポート情報 法人向けサーバー・クライアント用製品
https://eset-support.canon-its.jp/?site_domain=business

ご不明な点などがございましたら、上記の Web ページをご確認いただくか下記 Web ページより弊社のサポートセンターまでお問い合わせください。

- お問い合わせ窓口（サポートセンター）
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/883?site_domain=business